

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	産業界(企業等)			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として実施している。令和5年度は「明るい未来への展望－跳躍へのヒント－」をテーマに全5回開講した。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界(企業等)			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校: 県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校、学校法人武陽学園西武台高校
4	埼玉大学	課題解決型プログラムc	平成28年度	産業界(企業等)			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携したプログラムである。令和5年度は、浦和駅、北浦和駅、西浦和駅、武蔵浦和駅及び南与野駅周辺地域の活性化をテーマとし、フィールドワーク、グループワーク、関係者や地域住民へのインタビュー等を基に、課題解決策の提案を行った。
5	埼玉大学	課題解決型プログラムa 課題解決型プログラムb	平成29年度	産業界(企業等)			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし、平成29年度から「課題解決型プログラム」(全16回)として開講している。授業の最初に埼玉大学と民間企業との共同研究により開発されたキャリア支援アセスメント「長所発見テスト(VSAT)」を受検してもらい、その結果レポートを手掛かりに、自身の可能性と将来について考えを深めてもらい、その後、各企業が提示する課題に対して個人やグループワークをとおして課題解決に結びつく提案を行った。なお、「長所発見テスト(VSAT)」については、参加企業の社員にも受検してもらい、将来このような企業で活躍するならばどのようなスキルが求められるかを学生自身が考えるきっかけとするため、受検結果を学生たちと共有し、それにより、企業理解の一層の促進を図っている。
6	埼玉大学	課題解決型プログラムd	令和5年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし開講している授業である。令和5年度は、「さいたま新都心けやきひろばイベントがない日でもにぎわいを生み出す仕掛けづくり」をテーマに、グループワーク、フィールドワーク、関係者へのインタビュー等を基に解決策の提案を行った。提案したアイデアのひとつである、子どもたちが走ったり、遊んだりできる広場を設けることで、子どもや子育てにやさしい社会となることを目指すとともに、地域社会の活性化を促進することを目的とした「埼玉大学×芝生広場 コミュニティアートプロジェクト」が実現に至った。
7	埼玉大学	地域志向科目(地域創生を考えるa、地域創生を考えるb)の実施	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講した。
8	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体(行政)			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
9	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体(行政)			埼玉大学教養学部が埼玉県歴史と民俗の博物館・埼玉県近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和5年度は埼玉県歴史と民俗の博物館との共催により、「埼玉の学びと読書」をテーマに全4回の講座を開催した。
10	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体(行政)			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和5年度は「現代社会の基本問題」をテーマに全8回開講した。
11	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体(行政)			戸田市民大大学認定講座として実施している公開講座。令和5年度は「埼玉大学の研究を共に学ぼう」をテーマに全4回開講した。
12	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体(行政)			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
13	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体(行政)			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座(リカレント教育)」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
14	埼玉県立大学	大学の開放授業講座		自治体(行政)			県内在住の55歳以上の方を対象に、県と県内・近隣にキャンパスを構える大学が協力し、授業科目の一部を開放。
15	埼玉県立大学	高校生向け開放授業		高等学校			本学の教育内容に対する理解や進路決定への意識的取組の促進等を図るため、本学授業を高等学校生徒にを対象に開放
16	埼玉県立大学	高校等出張講座	平成15年度	中・高等学校			高等学校等の依頼に基づき、教員を派遣する。
17	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体(行政)			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方 ・9月6日(水)「動くこと」、「休むこと」から考える健康 ・9月20日(水) 食べることの大切さと健康について学ぼう
18	埼玉県立大学	夏休み子ども学習室in 県立大学	令和4年度	自治体(行政)			夏休みの小・中学生の学習支援を学内で実施
19	埼玉県立大学	認知症サポーター研修会	令和4年度	自治体(行政)			自治体から講師を招へいし、本学学生の認知症への理解を深め、認知症サポーターとして認定される。
20	埼玉県立大学	自殺対策ゲートキーパー研修会	令和4年度	自治体(行政)			自治体から講師を招へいし、本学の教職員研修の一環として、学生の自殺防止のための対応について講座の開催

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
21	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体(行政)			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 ・10月1日(日)「ケガをしにくい体になろう」 ・11月18日(土)「感覚ってなに?感じ方って人それぞれ!友だちの感じ方を考えてみよう!」
22	埼玉県立大学	大袋地区まちづくり会議	令和5年度	自治体(行政)			地域のコミュニティ推進協議会と地域の発展について、大学がどのようなかわりができるかについて、話し合う会議の開催
23	埼玉県立大学	「こども・若者居場所づくり」ワークショップ	令和5年度	自治体(行政)			市のこども計画策定の参考とするため、当事者あるいは当事者に近い世代である大学生の意見を聞く機会を設定。
24	埼玉県立大学	学校ボランティアの派遣		自治体(行政)			養護教諭課程の学生を授業科目の一環として、小中学校の健康診断等に学生を派遣
25	埼玉県立大学	埼玉県立大学春日部市民講座		自治体(行政)			春日部市、在住、在学、在勤の方を対象に、市民講座を開催。 ・6月3日(土)五十肩を予防する生活から見直す姿勢と肩甲骨の運動 ・6月24日(土)子育て講座-親子の相互作用でココロとカラダをヘルスアップ!-
26	埼玉県立大学	夏の短期自習室 学習補助	令和5年度	自治体(行政)			小中学生の学習補助として、公民館への学生派遣
27	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ「ハートフルコラボレーション」	平成25年度	産業界(企業等)			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者が対象
28	埼玉県立大学	いきいきサマーフェスティバル2023		その他			民活動団体の成果を発表、団体同士の交流の場づくり、団体間の交流促進を目的として実施する「彩の国いきいきフェスティバル」へのブース出展
29	埼玉県立大学	インターナショナルひなまつり(子どもの居場所づくり支援)		その他			一般社団法人多文化共生コスモ越谷と連携し、埼玉りそな銀行せんげん台支店3階に開設された、子ども支援拠点「りそな YOUTH BASE」にてイベント開催
30	埼玉県立大学	夢を見つける!リアル体験教室事業	平成23年度	自治体(行政)			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 小学4年生～6年生 7月31日(月)日本の伝統文化の研究者になろう 7月31日(月)歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい 7月31日(月)3Dプリンタを使う作業療法士になりたい 8月10日(木)看護師になりたい
31	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体(行政)			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」を開講している。
32	跡見学園女子大学	いざプラスカレッジ(旧:新座市民総合大学)	平成12年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		新座市内にある3大学(十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学)がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。
33	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。対面に加えて、オンライン形式でも実施している。
34	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
35	跡見学園女子大学	アカデミック・インターンシップ	平成15年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	インターンシップは、マネジメント学部の2年次必修科目である。講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 令和5年度には、県内21箇所(企業7、公益財団法人4、特定非営利活動法人2、社会福祉協議会2、自治体6)で実習が行われた。
36	跡見学園女子大学	埼玉県三郷市におけるインクルーシブ公園の開発と管理運営	令和3年度	自治体(行政)			令和5年3月22日にオープンしたインクルーシブ公園「なかよしひろば」の積極的な活用を促進するために、アカデミックインターンシップの課題として、赤松ゼミ2年生が、交流企画を立案・実施。障害児と健常児が一緒に遊ぶ機会を提供した。他方、障害の特性や、相互理解の不十分さなどの理由から、想定しているような交流が実現しなかった側面もあったので、引き続き三郷市と連携しながら改良を重ねていく予定である。
37	跡見学園女子大学	基礎ゼミナール(学外実習)でのインターンシップ	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体・非営利団体(商工会、社会福祉協議会、自治会、NPO等)	講義で学んでいる観光デザインやコミュニティデザインの知識、理論を、企業や自治体、NPOなどの非営利機関における就業体験や社会体験、または特定のテーマに基づく調査活動を通して具体的に・実感的に検証する。調査活動では、実習先から与えられたテーマや学生自らの問題意識に基づくテーマで調査を行い、具体的提言を行っている。 令和5年度には、埼玉県内7箇所(自治体5、非営利団体2)で就業体験、調査活動などの実習が行われた。
38	跡見学園女子大学	ATOMIインターンシップ	平成10年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		就職課主催の就業体験としてのインターンシップ(単位認定外)。学生が自己責任に基づいて納得できる就職をするために、早期離職や無目的なフリーターにならないように、しっかりとした職業意識を涵養し、職業観を育成する。加えて、実務経験を通して、人生設計の手がかりを探る機会を与えることを目的としている。令和5年度は42の受け入れ先のうち、6か所が埼玉県内の企業・自治体等であった。
39	跡見学園女子大学	埼玉県大学就職問題協議会主催 合同企業説明会	平成23年度	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県大学就職問題協議会加盟16大学主催(協賛:公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会/埼玉中小企業家同友会/株式会社埼玉りそな銀行)の下、合同企業説明会(オンライン)を実施。当日は、埼玉県に拠点を置く52社が参加し、加盟大学所属の学生との就職における交流の場(1日最大8社の説明を受けることが可能)となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
40	跡見学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の19大学/短期大学・23自治体・17団体(事業者)で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、就労支援、地域との連携事業(イベント等)に取り組んでいる。
41	跡見学園女子大学	埼玉県富士見市教育相談事業	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県富士見市教育相談室と連携し、市内小学校へのスチューデントサポーター(学生)派遣や、心理検査(WISC検査)を実施し、個別に支援を必要とする児童生徒のサポートを行なっている。
42	跡見学園女子大学	埼玉県和光市 大人のための絵本読み聞かせ講座	令和5年度	自治体(行政)			和光市役所教育委員会事務局 生涯学習課 南公民館と連携し、絵本を読み聞かせる際の効果的な方法に関する講座を企画実施した。
43	浦和大学	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
44	浦和大学	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
45	浦和大学	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体(行政)			R5年度はコロナや天候不順を経て5年ぶりの開催となった。会場も埼玉スタジアムに変更され、大変盛況に実施された。本学としては「あそびの広場(水引きづくり、スライムづくり、笑顔写真プレゼント、本学オリジナル風船プレゼント、魚釣りゲーム)」や「ステージプログラム(エイサーの演技披露)」を通して、本学学生と来場された区民の皆さんとの交流が図られた。
46	浦和大学	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			令和5年9月30日に、農業者トレーニングセンターで、31名が参加し活動を行った。
47	浦和大学	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体(行政)			さいたま市委託事業として公開講座を実施した。
48	浦和大学	さいたまマラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体(行政)			さいたまマラソン実施にあたり、大学施設貸与の協力を行った。令和5年度は、給水ボランティア(13名)及び応援ボランティア(エイサークル)も参加した。
49	浦和大学	就職・進学委員会主催 インターンシップ	平成27年度	産業界(企業等)			企業等における就労体験(インターンシップ)を通して、社会を知る、仕事を知る機会として実施。実習先については、地元産業界(企業等)を中心に依頼。令和5年度は6件の企業と覚書を交わした。
50	浦和大学	見沼ソーシャルファーム懇談会	平成28年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			R5年度は大学としての活動はなかった。
51	浦和大学	健康体操教室	平成28年度	その他	幼保・小・中・高等学校等		以下の期間にて対面形式で実施した。なお受入れ施設の許容人数から定員を15名として2回開催した。内容としては、①ウオーミングアップ、②参加者と学生の交流のためのレクリエーション、③マシンを活用したレジスタンストレーニング、④ケールダウンであり、1回の開催時間は約1.5時間であった。 <第1期>2023年9月25日～11月6日 各月曜日 全6回開催 <第2期>2023年11月13日～12月18日 各月曜日 全6回開催
52	浦和大学	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	R5年度は実施した。
53	浦和大学	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	産業界(企業等)	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1・2・3・4年生が、アスタウンティチャー(2～4年生)、チャレンジスクール(1年生)、学校の放課後活動支援に向かっている。
54	浦和大学	第8回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体(行政)			令和5年10月29日に開催された第9回浦和美園まつり&花火大会に協賛し、出店もした。
55	浦和大学	市民活動サポートフェスティバル	令和4年度	自治体(行政)			令和6年3月に実施されたフェスティバルに参加した。
56	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体(行政)			春日部市教育委員会、春日部市青年会議所と共同で、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 令和5年度の講座は以下のとおり。 1日目《はてな学》 「世界が平和になるためには」 2日目《ふるさと学》 「つくる喜びで感謝の心を育もう～みんなで実際につくろう～」 3日目《はてな学・生き方学》 「大学の学園祭に参加しよう！」 4日目《ふるさと学・生き方学》 「スポーツを楽しむコツ！～フラバレーボールを体験しよう！～」
57	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体(行政)			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上に資することを目的として、全3回開催する公開講座。 令和5年度の実施内容は以下のとおり。 ・旅とWell-being～私がつくる私だけの旅で健康になる～ ・AIの魅力と可能性 ・音楽とダンスで味わうアイルランド
58	共栄大学	高等学校への学習サポーターの派遣	令和3年度	幼保・小・中・高等学校等			教職志望の大学生を対象に、高校生の「学習サポーター」を募集し、各科目の試験対策補習における学習補助を行った。
59	共栄大学	魅力あふれる幼稚園の動画制作	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			魅力あふれる幼稚園の動画を制作・PRし、幼稚園教諭志望者の増加を目指す取り組みを実施した。
60	共栄大学	鉄道模型と鉄道写真展をキッズフェスタうちまき2023に出展	令和5年度	自治体(行政)			春日部市内牧地区公民館で開催された「キッズフェスタうちまき2023」に鉄道模型と鉄道写真展を出展。本学学生が運営に携わり、多くの親子連れや鉄道ファンの方々にお楽しみいただいた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
61	共栄大学	インタラクティブデジタルコンテンツで幼稚園のコンサートを演出	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			さいたま市民会館おおみや「RaiBoC Hall」(レイボックホール)で開催された第19回「神戸幼稚園ファミリーコンサート」にて、大学生が制作した音に反応するインタラクティブデジタルコンテンツを活用した演出を、幼大連携で行った。
62	共栄大学	越谷手焼きせんべいの魅力をVRで体感する映像コンテンツを出版	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			越谷市中央市民会館で開催された越谷市生涯学習フェスティバルにて、越谷市の伝統的手工芸品である「越谷手焼きせんべい」の魅力や背景をより深く理解できるだけでなく、新しい市場や顧客層にもアピールするとともに、技術や文化の継承や発信にも寄与することができた。
63	共栄大学	春日部子どもライブフェスタボランティア	令和5年度	企業			春日部子どもライブフェスタのボランティアスタッフを本学の学生から募集し、イベントの運営に携わることで地域の方々や子どもたちとふれあう機会を実現した。
64	埼玉医科大学	「埼玉医科大学市民公開講座」	平成17年度	自治体(行政)			身近な病気の話題を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。埼玉まなびプロジェクト協賛事業 【詳細】 ・令和5年6月24日 テーマ『脊柱管狭窄症および整形外科領域の痛み』 ・令和5年7月15日 テーマ『炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)』 ・令和5年9月9日 テーマ『埼玉医科大学におけるゲノム医療について』 ・令和5年9月30日 テーマ『埼玉医科大学におけるロボット治療』 ・令和5年10月14日 テーマ『がん治療に必要な栄養サポート』 ・令和6年1月20日 テーマ『アレルギー』
65	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
66	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体(行政)			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣 ・歩こうよ！もろやま健康ウォーキング事業への協力 ・生涯学習人権教育講座に講師として本学医師の派遣 ・本学臨地実習生の受入れ ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
67	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
68	埼玉医科大学	彩の国ビジネスアリーナ(産学連携)	平成27年度	産業界(企業等)			埼玉県産業振興公社等が主催した展示会に出展し、ニーズマッチング会やリサーチパークの紹介を紙面にて行った。
69	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体(行政)			・本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・介護認定審査会委員として本学職員の派遣 ・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 ・日高市健康習慣に関するアンケート調査の実施に向けた取組 ・日高かわせみの里ツアーウォークの協賛への協力 ・日高市内イベント(日高市健康まつり等)への協力 ・本学臨地実習生の受入れ ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等 ・ひまわり探検隊「体験教室」への協力
70	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	産業界(企業等)			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業(丸広百貨店エンジニアリング大学セミナー(年4回開催)講師として本学教員の派遣等)を一時休止中
71	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	産業界(企業等)			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業(埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布等)を一時休止中
72	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体(行政)			・本学臨地実習生の受入れ ・メタリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・市内公立小・中学校への学校医(耳鼻咽喉科)の派遣 ・奥むさし駅伝看護スタッフとして本看護師の派遣 ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
73	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界(企業等)			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
74	埼玉医科大学	越生町との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	自治体(行政)			・健康づくり検診への医師等の派遣 ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
75	埼玉医科大学	埼玉大学との連携協定	令和2年度	その他			・共同研究
76	埼玉工業大学	心理学セミナー		自治体(行政)			パラエティーに富んだテーマで心理学の世界を講座として用意し、地元をはじめとした一般の方へ開講する。 臨床心理学に関する心理学セミナー 【令和5年度】7/1, 7/29, 9/2, 10/14(オンライン開催)
77	埼玉工業大学	心理相談室		自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人々に対し専門家(臨床心理士)・大学院生による心理的援助を行う。 子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。(予約制)

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
78	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体(行政)			「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とのつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。 【令和5年度】11/11(対面開催)
79	埼玉工業大学	公開講座	平成12年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		教育・研究成果を地域社会に還元し、学びの場を提供することを目的に開講する。 【令和5年度】6/3、6/10、6/17、6/24(対面・オンライン開催)
80	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況の発表を行う。 【令和5年度】10/8(対面開催)
81	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大(大学・短大間連携)	深谷市・深谷青年会議所等と協同で実施 「はてな学」、「生き方学」、「ふるさと学」の3分野について学び、大学教員等による講義や実際に身体を使うワークショップなどの体験活動を行い、成果発表会で学びの成果を発表を行う。 【令和5年度】8/5・8/9・8/17・8/26・9/9(対面開催)
82	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			教育・研究成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に向き講義を行う。
83	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
84	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に向き講義を行う。
85	埼玉工業大学	先端科学研究所協定会第1回講演会		産業界(企業等)			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「Society 5.0を見据えた教育・人材育成についての最新動向」 【令和5年度】6/15(対面・オンライン開催)
86	埼玉工業大学	先端科学研究所協定会第2回講演会		産業界(企業等)			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「見て楽しい、食べて美味しいアスパラガス ～食べるだけでない！アスパラガス研究最前線！～」 外部講師：東北大学大学院 菅野 明 准教授 【令和5年度】9/1(対面・オンライン開催)
87	埼玉工業大学	先端科学研究所協定会第3回講演会		産業界(企業等)			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「認知症とともにある日々」 【令和5年度】3/12(対面・オンライン開催)
88	埼玉工業大学	さいしんビジネスフェア2023		産業界(企業等)			研究シーズ、産学官連携活動(技術相談、共同研究事例等)等をイベントで紹介するため、さいしんビジネスフェアへ出展する。 【令和5年度】6月7日(対面開催)
89	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ2024		産業界(企業等)			研究シーズ、産学官連携活動(技術相談、共同研究事例等)等をイベントで紹介するため、彩の国ビジネスアリーナへ出展する。 【令和5年度】2024年1月24日～25日(対面開催)
90	埼玉工業大学	令和5年度第1回産学連携シーズ発表会		産業界(企業等)			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表を行う。 【令和5年度】7月11日～7月20日(オンライン配信)
91	埼玉工業大学	令和5年度第2回産学連携シーズ発表会		産業界(企業等)			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表を行う。 【令和5年度】8月22日～8月31日(オンライン配信)
92	埼玉工業大学	令和5年度第3回産学連携シーズ発表会		産業界(企業等)			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表を行う。 【令和5年度】11月1日～11月10日(オンライン配信)
93	埼玉工業大学	令和5年度第5回産学連携シーズ発表会		産業界(企業等)			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表を行う。 【令和5年度】3月8日(対面開催)
94	埼玉工業大学	ふるさとふかや・渋沢学フォーラム	令和5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		深谷市で学ぶ子どもたちが、郷土の偉人・渋沢栄一翁の『立志と志忍』の精神を育み地域社会に愛着をもつとともに、持続可能な地域社会の創り手を育成することを目的に、市内の小中学生、高校生、大学生が参加する形で開催する。 【令和5年度】11月23日(対面開催) 学生スタッフを派遣
95	埼玉工業大学	深谷 渋沢栄一ゆかりの地めぐり自動運転バスの試乗会	令和5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	産業界(企業等)	渋沢栄一新一万円札発行記念として「渋沢栄一記念館」(深谷市八基)から公道約13キロを走行する実証実験を兼ねた試乗会。深谷市と埼玉工業大と6つの民間企業が連携する「深谷自動運転実装コンソーシアム」が運行する。 【令和5年度】2024年1月12日(対面開催)
96	埼玉工業大学	「彩の国ふれあいピック春季大会」での運営補助	令和5年度	自治体(行政)		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	「彩の国ふれあいピック春季大会」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和5年度】令和5年5月28日
97	埼玉工業大学	「深谷市産業祭」での運営補助	令和4年度	自治体(行政)		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	「深谷市産業祭」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和5年度】令和5年11月11日～11月12日

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
98	埼玉工業大学	「ふかやシティハーファマソン」での運営補助	令和4年度	自治体(行政)		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	「ふかやシティハーファマソン」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和5年度】令和6年2月25日
99	芝浦工業大学	第18回見沼区ロボット工作教室	平成18年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			1. 活動時期、場所、対象者 活動時期: 2024年3月16日、20日、23日 活動場所: 大宮キャンパス 対象者: 小学生70名(1年生から6年生) 2. プロジェクトをとおして得られた効果・成果 2.1 ロボット工作教室 内容: 「スナイパー」を見立てたロボットを子どもたちと製作し、実際に動かす。 結果:どの学年も夢中になって組み立て、自由な発想でロボットを操作している所が見られた。参加者アンケートより子どもたちからは楽しかった、もっと遊びたい等の意見ももらった。また保護者からは、普段経験できないことを子供にさせられて良かった、部員が一緒に安心して見守ることができた等の声があった。 2.2 研究見学ツアー 内容: 子供が工作をしている間に保護者様向けの研究室見学ツアーを行う。 結果:地元の保護者に芝浦工業大学がどんな研究をしているか伝えることができた。保護者からは、大学をより身近に感じる事ができた等の声があった。
100	芝浦工業大学	埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	研究シーズ、産学官連携活動(技術相談、共同研究事例等)、3月開催の本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの動員をオンラインで実施。(R5年度)
101	芝浦工業大学	地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施。(R5年度)
102	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。(R5年度)
103	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体(行政)			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。(R5年度)
104	芝浦工業大学	子ども大学SAITAMA	平成26年度	子ども大学SAITAMA実行委員会			コロナにより令和2年より一時中止、令和5年より再開した。 地域の大学や市町村、企業・団体が連携して、子ども的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学SAITAMA」に参加、子ども向けの講座として「まちと環境を考える～SDGsの取り組みを知ろう!」を12月9日に実施した。
105	芝浦工業大学	さいたま市シニア向け運動教室	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	例年は大学の運動施設を生かして大学近隣のシニア向け運動教室を実施しているが、今年度もオンラインで実施。(R5年度)
106	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた(システム工学特別演習を対面とオンラインで実施)。(R5年度)
107	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		ネットワーク会議の開催ができなかったため、「産学連携支援ネットワーク大学担当実務者会議」を実施。(R5年度)
108	芝浦工業大学	さいたま市主催 大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		「ARスポーツを活用した世代間交流の実践」で採択を受け、地域活性化活動を実施。(R5年度)
109	芝浦工業大学	(一社)さいしんコロボ産学官主催 中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会	平成30年度	産業界(企業等)			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から1チームが参加し、アイデア名『香りをキッカケとした回想リレーション』で審査員特別賞を受賞した。(R5年度)
110	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。(R5年度)
111	芝浦工業大学	知と地の創造拠点フォーラム	平成30年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	第1部「私たちがつくるみらい計画」 第2部 COC学生成果報告会 第3部 情報交換会@大宮CP生協食堂 本学の活動事例を、企業、自治体、関連団体、地域の皆様等に広く理解いただくとともに、学生の研究成果発表に対し、参加者からの評価をいただくことで産学連携を通じた人材育成を推進することを目的として実施。(R5年度)
112	芝浦工業大学	さいたま市「第12回学生政策提案フォーラムinさいたま」	平成30年度から参加	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	今年度は2チームが、『さいたまマッチング～4つの軸からさいたまを支える～』と『ARスポーツを通じた世代間交流でSAITAMAを盛り上げよう!』を発表。(R5年度)
113	芝浦工業大学	さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験	令和元年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		昨年度に続き、産学連携PBLの取組の一つとして、校舎内にシェアサイクルポートの設置と併せて、シェアサイクルの有効性や課題などの検討及び提案。(R5年度)
114	芝浦工業大学	さいたま市スマートシティ関連(大宮地区)	令和2年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大宮・さいたま新都心プロジェクト会議に今年度から正会員として出席。 今年度も、9月さいたま市からの協力も得て、さいたま新都心のコクーンシティで自動運転小型モビリティの実証実験を実施。(R5年度)
115	芝浦工業大学	芝浦ビジネスモデルコンペティション(SBMC)開催の後援を承認いただいた	令和3年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		埼玉県、さいたま市、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、さいしんコロボ産学官。(R5年度)
116	芝浦工業大学	埼玉県生涯学習ステーション、リアル体験教室プレミア公開講座(STEAMプログラム)	平成3年度	自治体			芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。令和5年度は、埼玉県生涯学習ステーションへの講座情報の提供および、埼玉県県民生活部青少年課の「リアル体験教室プレミア」事業に参加、下記の講座を実施した。 ・自分たちで創る明るい未来都市!～大学生とつくるダンボールシムシティ～ ・測量実習21世紀の伊能忠敬になってみる!～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
117	芝浦工業大学	埼玉県産業振興公社「シェアモビリティ研究会」開催	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		大学の知を生かして、『産学連携による県内企業技術開発力向上支援事業』を実施。(R5年度)
118	芝浦工業大学	埼玉県産業創造課「多角化支援事業業務委託事業者審査会」	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		大学の知を生かして、有識者会議に参画。(R5年度)
119	芝浦工業大学	埼玉県産業支援課「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」機能等検討有識者会議	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		大学の知を生かして、有識者会議に参画。(R5年度)
120	芝浦工業大学	埼玉県産業労働部企業立地課「埼玉Rich応援団」に参加	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		埼玉Rich応援団員として活動中。(R5年度)
121	芝浦工業大学	埼玉県商業・サービス産業支援課との連携強化	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		「スポーツビジネスネットワーク埼玉」会員として活動中。(R5年度)
122	芝浦工業大学	さいたま市スポーツ政策室との連携強化	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		さいたま市スポーツ政策室との共同研究実施。(R5年度)
123	芝浦工業大学	さいたま市『脱炭素先行地域』関連の共同研究検討	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		企業と共同研究実施。(R5年度)
124	芝浦工業大学	さいたま市産業創造財団との連携強化	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		産学連携によるお試し技術相談の試行。(R5年度)
125	芝浦工業大学	SITオープンイノベーション協創ネットワークに入会、幹事として参画いただいた	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		埼玉県、さいたま市。(R5年度)
126	芝浦工業大学	埼玉県産業支援課「アントレプレナーシップ教育推進会議」に参画	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		大学の知を生かして、推進会議に参画。第2回推進会議で本学の取組を講演。(R5年度)
127	芝浦工業大学	さいたま市・大宮アルディージャとの共同研究	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		3月4日の覚書締結を受けて、3者共同研究契約締結中。一部先行して大宮アルディージャVENTUS(U18・U15)女性アスリートのデータ取り開始。(R5年度)
128	芝浦工業大学	上尾子ども大学	令和5年度	自治体			大学の先生や、様々な分野の専門家からわかりやすく物事を教わる“子どものための大学”で、上尾市在住の小学5・6年生を対象に「ロボットのからくり ～ロボットつくりを体験しよう～ 工作を通してものづくりの面白さを学ぼう」を12月9日に実施した。(R5年度)
129	十文字学園女子大学	地域活動(ボランティア)Youth Volunteer部	平成8年度	自治体(行政)			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。障害者の方々とはかたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
130	十文字学園女子大学	新座市内大学公開講座	平成9年度	自治体(行政)			新座市教育委員会と本学の共催により、新座市内大学公開講座を開催している。令和5年度は、次の公開講座を開催した。 ・10/「子どもの夢と元気を育む地域の居場所づくり」126名 ・11/3「脚本・エンタメ・純文学 and more. 作家に聞く! 劇の楽しみ & ちよつと言えない裏話」70名
131	十文字学園女子大学	インターンシップ(大学)	平成11年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間:夏季休暇中(前期)または春季休暇中(後期)を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。
132	十文字学園女子大学	にいざプラスカレッジ	平成12年度	自治体(行政)			新座市が市内3大学(師見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学)と連携し、「にいざプラスカレッジ」(新座市民総合大学を令和2年度に改称)を開校している。大学キャンパスなどを使用し/バラエティに富んだ講師陣による座学、実技・フィールドワークといった特色ある講義を展開している。市内在住・在勤・在学の18歳以上を対象。 令和5年度は「にいざデザインコース」を開講し、全7回の講義を実施した。 受講者19名
133	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県では、県内大学との協働事業として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとなるよう、授業科目の一部を開放するリカレント教育事業(開放授業講座)を実施しており、本学も参画している。 令和5年度受講者数 前期:13名 後期:12名
134	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体(行政)			子ども大学にいざ実行委員会(新座市教育委員会・地域ボランティア団体“雑木の会”・十文字学園女子大学)が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和5年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 ・8/24「太陽系のお話～パロコで天体を動かしてみよう」(十文字学園女子大学 北原 俊一教授) ・8/26「惑星模型をつくって、太陽系の広がり調べてみよう」(新座市職員/新座星空クラブ副会長) 参加者36名
135	十文字学園女子大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、大学生が持つ行動力、専門技術、知識、新しい視点などを活かし、大学の研究室等で学生が地域で実際に活動し、中山間地域に活力をもたらすことを目的とする。 令和5年度は<横瀬町全域地区>、<皆野町日野沢・金沢地区>、<ときがわ町大附地区>において活動。
136	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	埼玉県			学生の地域連携ボランティア団体「ソウキリンくらぶ」は、ボランティアで道路の清掃美化活動を行う埼玉県の「彩の国ロードサポート制度」による道路サポート団体として認定を受け、快適で美しい道路環境づくりの活動を展開している。
137	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体(行政)			子ども大学しき実行委員会(志本市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学)が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和5年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 <テーマ>カッ!とお金と志本ものがたり～学んでみよう! 私たちのまち～ ・1/20「令和のカビル伝説を作ろう」(十文字学園女子大学 武田 比呂男教授) ・2/3「みんなの知らないお金の話」(川口信用金庫 宗岡支店 担当スタッフ) 参加者12名
138	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界(企業等)			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・球団イベントへの学生ボランティアの派遣(R5は球団からの依頼なし) ・球団・新座市・大学プラットフォーム「TJUP」との共催による本学での親子野球体験イベントの実施(学生が運営スタッフとして参加)

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
139	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	令和元年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・23自治体・17事業者等で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、FD・SD、単位互換、地域の教育支援、地域への就職促進、入試広報活動、地域との連携事業(イベント等)に取り組んでいる。令和5年度もオンラインを併用しながら、各活動に取り組んだ。
140	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	自治体(行政)	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
141	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 (令和5年度内容) 淑徳大学にて健康講座を開講(9/30)
142	淑徳大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成19年度	自治体(行政)			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
143	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐみ、向上させることを目的としている。 (令和5年度内容)全8回実施(入学式・修了式含む)
144	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色んなスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 (令和5年度内容)7回実施(入学式・修了式含む)
145	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐみ、向上させることを目的としている。 (令和5年度内容)5回実施(始業式・修了式含む)
146	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体(行政)	小学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
147	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外(保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等)での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
148	淑徳大学	西みずほ台商会会との協働事業	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			西みずほ台商会会への学生派遣や商会会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。 (令和5年度内容)
149	淑徳大学	鶴瀬西口商会会との協働事業	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。 (令和5年度内容) コロナにより中止中。
150	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
151	城西大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。
152	城西大学	MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展	平成14年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		「MOA美術館児童作品展」は、子どもたちが興味関心を持ったことをひとりひとりの感性で絵に表現していくことで、「思いやりの心」「豊かな心」を育てることを目的に1989年よりMOA美術館(静岡・熱海)が主催となって実施している児童作品展で、「坂戸・鶴ヶ島児童作品展」は、その全国展に先駆けて行われる地域展となる坂戸市、鶴ヶ島市内の小中学生たちの絵画作品展で2002年より行っている。 2015年より学生ボランティアとしてこの展覧会運営に参加し、子どもたちの創作活動への支援を地域ボランティアとともに取り組んできた。 2021年度より会場を坂戸市文化会館から城西大学水田美術館へ変更し、会期も2日間から3週間程度と長く開催する事となった。2023年度の応募作品数は坂戸市8校、鶴ヶ島市5校より214点で、そのうち21点が入賞作品として選ばれた。また、会期前日には入賞者表彰式を開催、その他、土日も開館するように対応し、学生ボランティアが表彰式運営スタッフ、土日來館者対応スタッフとして参加した。
153	城西大学	埼玉県事業「大学の開放授業講座」	平成19年度	自治体(行政)			県と大学が協力して、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、授業科目の一部を開放し、一般の学生と一緒に学ぶ機会を提供する。
154	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体(行政)			坂戸市との連携協定に基づき、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。 教職員の各種審議会等への参加をはじめ、市内公民館等における講演会講師、イベントへの実行委員としての参加や広報媒体の制作などを行っている。
155	城西大学	リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会との連携事業	平成21年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023川越4大学連携(IPE)の学生と共にがん患者さんとご家族に対してリレーを通して支援をする、がん制圧に向けた世界共通のチャリティイベントであるリレー・フォー・ライフ・ジャパン川越2023に参加した。2023年度はSAIPE活動企画として、埼玉医科大学の産婦人科医の監修のもと、「6つのがんを防ぐ「HPVワクチン」を知る・考える・伝える」をテーマとして、HPVワクチンに関するポスターの作成、相談会、スタンブラリーの開催、SNSによる発信など様々な活動を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
156	城西大学	埼玉県事業 埼玉県川の国広援団「高麗川プロジェクト」	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動。城西大学は「高麗川プロジェクト」として登録し、人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定した。このプロジェクトは、学生のアイディアに基づき高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとと川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につながることを目指した。高麗川多和田地区の美化活動と自然環境の定点観察並びに情報発信を行った。また、荒川流域ネットワークにより開催される「アユ漁体験と魚捕りイベント」において、会場の設営、子供たちの魚捕りのサポート、捕った魚の調理など、運営をサポートも行った。
157	城西大学	埼玉県内博物館との連携 埼玉県博物館連絡協議会	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	2012年度より加盟中の「埼玉県博物館連絡協議会」では、研修への参加や情報共有を行うなど、県内にある美術館・博物館と相互連携を図るようしており、今年度については、所属する西部地域の催物案内への情報提供や、「埼玉県博物館連絡協議会加盟館マップ」の校正作業に協力した。
158	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト(SAIFE)	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	埼玉県内職団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学の4つの大学と埼玉県が連携して取り組んでいる専門職連携教育(Interprofessional Education: IPE)で多職種連携によって課題を発見し解決できる人材育成を行い、専門職連携(Interprofessional Work: IPW)によって地域住民の質の高い暮らしを支えることのできる地域社会づくりに貢献することを目的に4大学の学生がチームで現場実習に取り組み連携科目を共同開発・開講したほか、県内の職団体を通じ、現職者を対象とした研修会なども開催している。
159	城西大学	子ども大学にいま	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	坂戸市・毛呂山町・越生町の教育委員会と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。 なお2023年度は「マイナス196℃の世界」、「地球からのおくりもの」の2講座を実施し、24名の小学生が参加した。
160	城西大学	坂戸市との連携 「坂戸市住宅団地にぎわい再生事業」	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通して、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。 毎月1日に発行している「北坂戸にぎわいサロン通信 城西大学」において薬学研究科医療栄養学専攻院生の食品コラムと料理レシピを提供している。2023年度においては、ローカルヒーローショーや浮世絵鑑賞体験などの対面開催イベントを行った。
161	城西大学	ローカルヒーローによる地域活性化事業	平成27年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	経営学部において地域振興、福祉の新しい活動として注目されるローカルヒーローを研究するゼミ活動として、自治体、自治会、産業界が主催するイベント等でショーの運営を行う。
162	城西大学	卒業研究を通じた連携	平成28年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	自治体や地域団体、産業界からの依頼を受け、環境DNAを用いた生息地調査を行っている。
163	城西大学	道の駅おがわまちとの連携 小川町観光プロモーション活動	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		現代政策学部において、小川町の観光の魅力を発信するための創作活動・発信を行う。小説、映像、音声等をSNS等を利用して発信している。
164	城西大学	坂戸・鶴ヶ島消防組合との連携 大学生機能別団員の活動	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		坂戸市が市内3大学と締結している「災害時における協力体制に関する協定」に基づき、課題である平日屋間における大規模災害時の団員不足を解消する方策として、大学生が地震などの大規模災害時において、避難所運営のサポートに任務を限定して活動し、基本団員が一人でも多く災害現場で活動できる体制を作り、消防力の強化を図るため、大学生機能別団員が結成された。 2023年度は36名の学生が登録し、普通救命講習などの研修や大学の防災訓練に参加し活動した。
165	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進
166	城西大学	埼玉県との連携 「不当表示広告調査(健康食品等)」	平成30年度	自治体(行政)			HPや雑誌、新聞広告をしらべ不当表示広告を埼玉県に報告する。
167	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
168	城西大学	インターンシップ		地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	自治体(行政)	自治体や企業のほか学校での授業補助のチューデントインターンシップを実施。 坂戸市教育委員会と連携して行うチューデントインターンシップは、坂戸市内の小学校、中学校に授業や放課後指導の補助にあたった。
169	城西大学	総合型スポーツクラブ「JAWS」		自治体(行政)			毛呂山町と城西大学を結び、スポーツ文化の創造と、地域の活性化を目的とした総合型地域スポーツクラブの教室運営を陸上競技部、サッカー部、女子ソフトボール部が担当している。
170	城西大学	「坂戸よさこい」		自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア等)	坂戸市に「にぎわいと活力」を取り戻すまっぴりとして、2023年は5年ぶりに開催し、内容を見直した新たな坂戸よさこいを開催した。「坂戸よさこい」の継続及び更なる発展のため、本学から検討を行う坂戸よさこい実行委員会への委員での参加。当日は本学のストリートダンスサークルのシューズが参加し、まっぴりを盛り上げた。
171	城西大学	子ども応援ネットワーク埼玉事業 「Happy-lucky-café」	令和元年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		小学生の放課後の居場所づくりとして、城山公民館を会場に最寄の坂戸市立城山小学校が情報周知に協力のもと、子ども食堂、学習支援教室、プレパークを運営している。
172	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体(行政)			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 特定健診時の栄養食事調査と健康教育、広報ときがわの毎月の「城西大学通信」の執筆、食を語る会(食や健康に関わる専門職種の方の研修会、Tokigawa Motion(フレイル予防対策)を実施した。
173	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体(行政)			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。
174	城西大学	鶴ヶ島市立図書館との連携事業	令和2年度	自治体(行政)			鶴ヶ島市立図書館協議会への出席を通じて図書館運営に関する諸計画の立案、図書館運営に関する調査・研究を行ったり、鶴ヶ島市立図書館を使った調べ学習コンクールの審査員を通じた連携を行っている。 昨年度に引き続き、本学の図書館長が審査委員長を務めた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
175	城西大学	毛呂山町との連携事業 毛呂山町ビジネスコンテスト	令和3年度	自治体(行政)			若者が「使いたい」「働きたい」と思えるビジネスを毛呂山町につくることが目的としたビジネスコンテストの一次審査において、会場を提供し、経営学部がゼミが当日の進行を通じて運営に協力した。
176	城西大学	越生町 梅凜カフェとの連携事業	令和3年度	産業界(企業等)			越生町山口農園内のシェアカフェ「梅凜カフェ」にて医療栄養学科の学生たちがワンデイカフェの運営を実施する
177	城西大学	埼玉県、埼玉県防災士会との連携 「地域防災政策1日」協働講義	令和4年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		埼玉県危機管理課、埼玉県防災士会と協働の講義を3回実施した。その内容は、防災のイメージと判断力を高めるクロスロードゲームと、避難所運営訓練(HUG)である。25名前の受講生が参加し、その様子はNHKニュースでも取り上げられた。
178	城西大学	Josai Univ Football Festival	令和4年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	「城西サッカー部を知ってもらうために、地域の方を招待しサッカーを楽しんでもらう。我々の取り組みを理解してもらえよう。常に真摯に行動し、おもてなできるようにする。」をミッションにサッカー部内の地域貢献部局が企画・運営の中心となり、学生が打ち合わせを重ねて実施した。
179	城西大学	坂戸市サッカー協会との連携 「坂戸市少年サッカーレゼン活動」	令和4年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			坂戸市の少年サッカーチームから選抜された選手を集めてのトレーニング。定期的に行っている活動を今回は城西スポーツフィールドにて、城西大学サッカー部員による指導を行なった。
180	城西大学	Amazon坂戸FCとの連携 地元食材を使用したメニュー考案	令和4年度	産業界(企業等)			城西大学薬学部医療栄養学科で管理栄養士を目指す学生と管理栄養士資格を有する大学院生がAmazonとコラボし、地元食材を使用したメニューを考案した。
181	城西大学	鶴ヶ島市富士見地域支え合い協議会との連携 高齢者スマホ教室	令和4年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			経済学部勝浦ゼミと鶴ヶ島市富士見地域支え合い協議会との連携で高齢者を対象としたスマホ教室を開催。3Gから5Gへの移行に伴いスマホを購入した高齢者たちが活用方法についてよくわからずに困っているという声に応えたもの。両日とも35人の高齢者が参加を希望され、それ以上の人数の勝浦ゼミがマンツーマンでアシスタントを行った。
182	城西大学	毛呂山町立光山小学校との連携事業	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			地域交流事業として毛呂山町立光山小学校の児童が、城西大学の構内を見学したり、理学部化学科と水田美術館での学びの体験プログラムに参加したり、留学生との交流をおこなったりしたなどの事業を実施した。
183	城西大学	毛呂山町のお店を元気にする楽しいプロジェクト	令和4年度	産業界(企業等)			毛呂山町西大久保の約800番地から1100番地周辺に点在する、スイーツ店、飲食店、各種販売、いちご農園、ゴルフ練習場、釣り堀等の各種施設に「点在型商店街」という新たなコンセプト名を付ける。この「点在型商店街」に対して総合的に低コストでのHPや動画作成などを行い、結果として一定期間経過後に、売上金額の向上率等をKPIとして効果測定する。医療栄養学科ではターゲット店に対して健康に良いスイーツや、新しい販売商品の提案などを行い、付加価値を付けていく。
184	城西大学	毛呂山町延命寺との連携 書初め会での指導	令和4年度				書道サークルの学生が延命寺において、地域の小中学生の書初め会での指導を行った。書初めの指導の後、冬休みの宿題や自習課題の学習支援も実施した。
185	城西大学	武蔵越生高校との連携 総合探究ゼミ城西大学発表会	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高校の総合探究において校内から選抜されたゼミ6ゼミ(25名)が城西大学で発表会を実施した。審査員として城西大学の学生と教職員が参加した。
186	城西大学	産学連携ネギ・米ブランディング事業	令和5年度	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		地域産業の活性化を目的に、ちほろふーむ(鳩山町)とTomozoy's Farm(川越市)と協働し、メニュー開発、情報発信、ブランディングにチャレンジした。春学期は「なないろハンドメイドマーケット」(川越市、6月)に出店した。秋学期は、鳩山クラフトフェア(鳩山町、12月)への出店した。
187	城西大学	イオンモール浦和美園店との連携 「健幸」イベント開催	令和5年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	イオンモール浦和美園店内に来店した家族連れに対し「健幸」を実感してもらうための産官学連携イベントを実施した。本学陸上部のアスリートによる「運動」のワンポイントアドバイスを通して地域住民の健康増進に貢献した。
188	城西大学	地域相互協力図書館合同主催公開講座 「クロスロードで学ぶ、私がやるべき災害対策」	令和5年度	自治体(行政)			本学教員による、防災に関する公開講座「クロスロードで学ぶ、私がやるべき災害対策」を開催し、地域の方、公共図書館員など28名が参加した。
189	城西大学	飯能信用金庫との連携 「地元商店応援プロジェクト」	令和5年度	産業界(企業等)			経済学部の4つのゼミ(1・2年)がゼミ活動の一環として、産学連携協定を締結している飯能信用金庫の取引先である地元商店のプロモーション活動の取り組みを行った。
190	城西大学	埼玉県立図書館等との連携 図書館と県民のつどい埼玉2023	令和5年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短大(大学・短大間連携)	県内の市町村立図書館、県立図書館、高校図書館、大学図書館、活字文化に関わる団体などが協力して開催するイベントである。本学は「城西鉄道の旅～ライブラリーラウンジの歴史探訪～」のポスターや地域連携活動発表会パネルのほか、学生アドバイザーの制作物(グッズ)などを展示した。
191	城西大学	日高市との連携協力 ひ・まわり探検隊	令和5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		日高市と連携をし、日高市内の小中学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作る「体験教室」を開催した。「世界にひとつだけのちわを作ろう」美術館、「JOSAI美術館・博物館ワークショップ」美術館・化石ギャラリー、「化学を楽しもう☆城西実験クラブ☆」化学科の3教室を実施した。
192	城西大学	北坂戸イーストフェス	令和5年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			芦山町町内会とけき通り商業会がタッグを組んだお祭り「北坂戸イーストフェス」が開催され、本学経営学部のローカルヒーローショー、吹奏楽部、ダンスサークルSHOELACE(シューレース)がステージを披露した。
193	城西大学	多文化交流フェスティバルinさかど	令和5年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	産業界(企業等)	令和5年度坂戸市提案型協働事業の一環として、坂戸市および一般社団法人レク寺子屋が共催で実施した事業。異文化に対する関心や理解を深めることを目的で開催され、本学学生6名がボランティアとして参加した。韓国すごろく「ユンノリ」体験のサポートを行った。
194	城西大学	東松山市との連携 きらめき市民大学	令和5年度	自治体(行政)			幅広い年齢層の方が自主的に学んでいる東松山市のきらめき市民大学に、本学教員が講師を行った。東松山市民の学びに貢献を行った。
195	城西大学	水田美術館 展覧会関連企画講演会	令和5年度	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		展覧会「煌めきの日本近代洋画展ー贖業協会コレクションで出会う名品ー」、「英雄 尚巴志ーはじまりの統一王ー」、「現代数学と切り絵アート展」など、各専門家を招き、展覧会関連企画講演会を開催した。
196	城西大学	「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール」応援講座	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		坂戸市立図書館において、図書館学生アドバイザー11名が「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール」応援講座のワークショップで講師を務め、小学生のサポートを行った。
197	城西短期大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
198	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネージメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
199	尚美学園大学	大学によるリカレント教育(開放授業講座)	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県と県内大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるように開放。「R5年度コロナにより一時中止」
200	尚美学園大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			「彩の国大学コンソーシアム」加盟大学間における単位互換。「R5年度コロナにより一時中止」
201	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	自治体(行政)			川越市との連携講座。川越市民対象の公開講座で、毎年1講座実施している。「R5年度コロナにより一時中止」
202	尚美学園大学	川越市スクールインターシップ	平成27年度	自治体(行政)			川越市教育委員会と川越市内近郊の大学が連携し、川越市内小・中学校を対象に学習指導の支援や部活動支援を通して、児童生徒の学力及び体力の向上を図るとともに、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とした事業に教職課程に在籍する大学生を派遣している。「R5年度は学生都合がつかず不参加」
203	尚美学園大学	放課後パワーアップ教室	令和元年	自治体(行政)			近隣小学校において、児童の安全かつ安心な居場所を設け、学習支援を通して児童が地域社会の中で心豊かに健やかに育まれることを目的とした事業に学生ボランティアとして派遣している。学生は宿題や自主学習の支援を行っている。「R5年度は学生都合がつかず不参加」
204	尚美学園大学	小・中学校、高等学校との異文化交流	平成16年度	小・中学校、高等学校			各学校から国際理解の学習あるいは国際交流事業において、実際に外国の方々との交流を通して、異文化に触れる体験的な学習を目的とした授業に外国人留学生の派遣をしている。留学生は独自の資料等を準備し、母国の文化・習慣などの紹介や生徒と交流を行っている。R5年度は小学校2校、高等学校1校で実施した。
205	尚美学園大学	大東地区子どもフェスティバル	平成30年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			大東地区地域子どもサポート委員会主催による「子どもフェスティバル」において参加者は昔ながらの遊びや地域の方による体験教室を通して交流を図る目的の事業に外国人留学生を派遣している。留学生は運営ボランティアとして、母国紹介などをしている。
206	尚美学園大学	外国人のための高校進学ガイダンス川越会場	平成27年度	自治体(行政)			ケリア日本語学習支援教室及び川越市国際交流文化交流課が主催する日本語を母語としない中学生やその家族等を対象とした「進学ガイダンス」に外国人留学生を派遣している。留学生は参画校と参加者間の通訳スタッフをしている。
207	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和元年度	自治体(行政)			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同源プロジェクト」の取り組みの一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー(食用花)を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げよとの想いから共同でメニュー開発を行った。
208	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
209	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がふじみ野駅前「ピアザふじみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
210	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。
211	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和元年度	産業界(企業等)			埼玉縣信用金庫本店(熊谷市)で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジック細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関する知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
212	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			川越市中央公民館にて、市内の小中学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。
213	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和元年度	自治体(行政)			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野彩(とんでやさい)餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学生が参加し、考案。
214	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和元年度	自治体(行政)			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
215	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
216	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当箱法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
217	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和元年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
218	女子栄養大学	富士見市ふるさと祭りに参加	令和元年度	自治体(行政)			富士見市ふるさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サーウェル・ケーキ・ラスパリケーキ・コナツツボール・セルビアコロクの販売を行った。
219	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和元年度	自治体(行政)			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の圃場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
220	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
221	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
222	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和元年度	産業界(企業等)			連携先である国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町)の創立記念週間イベント(NWECアニバーサリーウィーク)が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「ブランタン」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
223	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和元年度	産業界(企業等)			連携先である川越総合卸売市場株式会社主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
224	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和元年度	自治体(行政)			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定の地域振興カフェ「IRODORI CAFE」をオープンし、秩父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秩父地域のコラボランチプレートを提供した。
225	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和元年度	自治体(行政)			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
226	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 はとやま食エコレシピコンテスト	令和2年度	自治体(行政)			鳩山町主催、鳩山町教育委員会共催の「はとやま食エコレシピコンテスト2020」の審査員及び食エコレシピ集の監修に調理学研究室(大学)の教員が協力。
227	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 食品ロス削減レシピの作成	令和2年度	自治体(行政)			おうちで実践できる食品ロス削減レシピの作成に、調理学研究室(短大)の教員が協力。レシピは、4つのテーマ(「時短」・「家事負担軽減」・「食費削減」・「健康」)に沿って作成。食品ロス削減月間の10月に埼玉県のホームページでレシピを公開。
228	女子栄養大学	埼玉県庁×そごう大宮店 【おうちでできるフードロス対策レシピ】	令和2年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		おうちでできるフードロス対策レシピの作成に、調理学研究室(短大)の教員が協力。食品ロス削減月間の10月、そごう大宮店のホームページで、レシピを公開。
229	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 「彩の国学校給食研究大会」	令和2年度	自治体(行政)			埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、(公財)埼玉県学校給食会が主催した「彩の国学校給食研究大会」で、「教育と食育との関わり」について、講演。学校給食担当者や学校給食共同調理場の職員、公立小・中・特別支援学校・学校給食実施高等学校の教職員、約150名が参加。
230	女子栄養大学	埼玉県・一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会主催 令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医学講習会	令和2年度	自治体(行政)			令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医学講習会において、栄養生理学研究室(大学)の教員が「アスリートの栄養・食事」の演題で、90分間、オンライン上で講演。
231	女子栄養大学	三芳町との連携事業 三芳産の野菜たっぷり弁当を考案	令和2年度	自治体(行政)			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使ったお弁当づくりに食料・地域経済学研究室の教員が指導のもと、学生が協力。お弁当開発のコンセプトは、「おいしいみよし野菜をたくさんの人に食べてほしい!」。2種類(主菜が2つのガッツリ系弁当&主菜が一つのヘルシー系弁当)考案。販売日・数量限定で、三芳町文化会館内「福祉喫茶ハーモニー」で販売された。
232	女子栄養大学	富士見市との連携事業 学校給食の新メニューの考案	令和2年度	自治体(行政)			不足しがちな栄養素をおいしく摂るため、学校給食の新メニューの作成に、給食・栄養管理研究室の教員が指導のもと、学生が協力。新メニューは、特に不足しがちな鉄分の補給を目的に、鉄分を多く含むレバーチップや小松菜を使用。市内の小・中学校で新メニューが提供された当日は、メニューを考案した学生も調理を手伝った。
233	女子栄養大学	富士見市との連携事業 食育動画講座「パン作り教室」の作成に協力	令和2年度	自治体(行政)			富士見市食育推進事業「パン作り教室」の動画講座で、専門学校の教員が講師を務めた。対面での教室開催予定から市民(申込制)が動画(富士見市撮影・編集)を視聴できる形へと変更しての実施。
234	女子栄養大学	三郷市との連携事業 簡単健康乳幼児レシピと調理動画の作成に協力	令和2年度	自治体(行政)			乳幼児の食生活の重要性を考え、保護者が手軽で簡単に作ることができる健康な乳幼児向けのレシピと調理の動画の作成に、給食システム研究室(大学)の教員指導のもと、学生がレシピ考案、離乳食の試作、撮影等に取り組んだ。レシピと調理の動画は、三郷市のホームページで公開。
235	女子栄養大学	㈱ベルクとの連携事業 栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを監修	令和2年度		産業界(企業等)		㈱ベルクが製造・販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修。
236	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和2年度		産業界(企業等)		コープデリ生活協同組合連合会の販売する健康をテーマにした「からだ健やかシリーズ」のお弁当メニューを監修
237	女子栄養大学	ホンダ開発㈱との取組 同社が運営する社員食堂で本学監修健康フェアを実施	令和2年度		産業界(企業等)		本学園学生食堂の管理栄養士が監修した学食メニューを、ホンダ開発㈱が運営する社員食堂で、提供する健康フェア「からだよこ健康ごはん」を期間限定で実施。
238	女子栄養大学	㈱国太楼との取組 同社の製品2種を監修	令和2年度		産業界(企業等)		㈱国太楼の製品「GABA配合ポット用掛川茶」及び「GABA配合ポット用ルイボスティ」の2種を栄養科学研究所が監修。量販店及びネットで販売予定。
239	女子栄養大学	ふじみ野市 昭和100年大学「高齢者の実践栄養学」で講演	令和3年度	自治体(行政)			ふじみ野市「昭和100年大学」元気健康学部「健康のための教養学科」で本学教員が「高齢者の実践栄養学」の演題で講演
240	女子栄養大学	富士見市食育動画「親子で楽しくお菓子作り教室」の作成に協力	令和3年度	自治体(行政)			夏休みに親子で簡単に家で作ることができる「お菓子作り」の動画作成に協力、専門学校教員が講師を務めた。
241	女子栄養大学	「埼玉県SDGsパートナー」に登録	令和3年度	自治体(行政)			埼玉県が創設した「埼玉県SDGsパートナー」登録制度に登録。埼玉県HPIに本学の「SDGs達成に向けた宣言書」が公開
242	女子栄養大学	鶴ヶ島逸品会と埼玉県産食材を使用したフレイル予防メニューを紹介	令和3年度	自治体(行政)			埼玉150周年・鶴ヶ島市市制施行30周年を記念して、鶴ヶ島逸品会と県内四大学(日本薬科大学・城西大学・明海大学・本学)がコラボした埼玉県産食材を使用した「フレイル予防」をテーマとしたメニューを紹介

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
243	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体(行政)			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPIにて一般公開。
244	女子栄養大学	(株)ヤオコーと「『減塩』健康生活提案の取組」を実施	令和3年度		産業界(企業等)		包括連携協定を締結している(株)ヤオコー店舗において、「減塩」健康生活提案の取組みを実施
245	女子栄養大学	(株)ヤオコーで埼玉150周年記念「地産地消弁当」を発売	令和3年度		産業界(企業等)		本学(株)ヤオコー、埼玉県、JAグループが協働して、埼玉県産食材を使用した弁当を企画・開発し、彩りや栄養バランス等の面から本学学生が助言した「地産地消弁当」がヤオコー店舗にて期間限定で発売。
246	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和3年度	自治体(行政)			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使った「みよしの野菜癒しのレシピ」の監修業務に学生が協力。教員指導のもと、学生19名が4チームに分かれ、弁当と総菜を考案。JAいるま野農産物直売所「あくれっしゅふじみ野」で期間限定で販売。
247	女子栄養大学	桶川市「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和3年度	自治体(行政)			桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」にて本学教員が「スポーツ栄養学、強くなる小学生の食事戦略～旬の食材を使った身体を作る献立作成」の演題で講演。
248	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使ったチーズケーキを考案	令和3年度	自治体(行政)			学生が卒業研究の一環で、地域振興の一助になればと、埼玉県秩父地域の1市4町(秩父市、瀬瀬町、皆野町、小鹿野町、長瀬町)の特産品を使ったチーズケーキを考案。(一社)秩父地域おもてなし観光公社、お菓子な郷推進協議会との協働で商品化。
249	女子栄養大学	志木市主催「減らすソルトレジピコンテスト」で各賞を受賞	令和3年度	自治体(行政)			志木市主催の「減らすソルトレジピコンテスト」をテーマとした「減らすソルトレジピコンテスト」にて本学学生が考案したレシピ6品が各賞を受賞。
250	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室(和食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体(行政)			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(和食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPIにて一般公開。
251	女子栄養大学	鳩山町主催「はとやま食エコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和3年度	自治体(行政)			鳩山町主催の「はとやま食エコレシピコンテスト」にて本学学生2名が特別賞を受賞。また、当コンテスト審査員長を本学教員が務めた。
252	女子栄養大学	埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案	令和3年度	自治体(行政)			学生が卒業研究の一環で、JAいるま野管内で生産された埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案。JAいるま野YouTubeチャンネルでレシピ動画が公開。
253	女子栄養大学	富士見市学校給食の新メニュー開発に協力	令和3年度	自治体(行政)			富士見市学校給食センターとの食育連携事業で地産産米「彩のさずな」を活用した学校給食新メニュー開発に学生が協力。2022年1月28日。富士見市内全小中学校の給食で提供。
254	女子栄養大学	鶴ヶ島産いちご100%シロップ「鶴莓」を使ったレシピ考案	令和4年度	自治体(行政)			つるがしま逸品会、鶴ヶ島市とのコラボ企画で、本学食文化栄養学科の学生を対象に、鶴ヶ島産いちご100%シロップ「鶴莓」を使ったメニューアイデアコンテストを開催。学生たちのレシピを参考にした料理がつるがしま逸品会の13の採用店舗で提供された。
255	女子栄養大学	三郷市健康づくり講演会で講演	令和4年度	自治体(行政)			三郷市と健康づくりを進める会inみさとの共催による、三郷市健康づくり講演会で本学教員が「フレイル予防で心も体も若く・元気に」の演題で講演を行った。
256	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～野菜たっぷりメニュー編～」作成の協力	令和4年度	自治体(行政)			富士見市との取組として、本学の学生食堂で提供されている定食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～野菜たっぷりメニュー編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。
257	女子栄養大学	桶川産梨を使用したスイーツを製造・販売	令和4年度	自治体(行政)			駒込キャンパス菓子工房プラントにて、桶川市の梨を使用したスイーツ(ゼリー、生パウンドケーキ)を開発し、製造、販売した。
258	女子栄養大学	富士見市食育推進事業 「野菜を食べよう！親子パン教室」に協力	令和4年度	自治体(行政)			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜を食べよう！親子パン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市内在住の小学生と保護者を対象に応募の中から4組が参加し、野菜を使った2種類のパン(じゃがいもとウインナーのチーズパン・フラメンクッシュ)作りを体験。
259	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2022「セルビアフェスタ」に参加協力	令和4年度	自治体(行政)			富士見市で開催された国際交流フォーラム2022「世界へのとびら」において同市とセルビア共和国シャパツ市との姉妹都市提携40周年を記念した写真展やセルビア雑貨の販売するセルビアフェスタが行われ、本学教員とゼミ生が参加協力。ゼミ生が作ったセルビア産ラズベリーを使用したラズベリーケーキ、本学菓子工房プラントの製造した「はちみつマドレーヌ」を来場者にプレゼントした。
260	女子栄養大学	比企のらぼう菜を使ったメニューを考案・研究発表	令和4年度	自治体(行政)			本学食文化栄養学科の学生が「伝統野菜のらぼう菜による比企地域の振興」をテーマに卒業研究として「のらぼう菜」を使ったレシピを考案。商品の開発、研究発表をした。
261	女子栄養大学	桶川市男女共同参画セミナー「男性料理教室」に協力	令和4年度	自治体(行政)			桶川市の主催する男女共同参画セミナー「男性料理教室」において本学教員が講師を務め、学生が参加者のサポートをした。男性10名が参加。(メニューは「ハンバーグきのこソース 温野菜添え」・「ミネストローネスープ」・「きゅうりのリボンサラダ」・「乾パン de ティラミス」)
262	女子栄養大学	スーパー「ベルク」の弁当・スイーツを考案	令和4年度		産業界(企業等)		㈱ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学食文化栄養学科の学生が惣菜(「からだやさいしい秋やさい御膳」、「からだやさい冬のパティッシュ」)、スイーツ(「ていらみずばるふえ」、「ほっころりフォンダンショコラ」、「宇治抹茶ときなこの和わつら」)を考案、ベルクにて販売された。
263	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和4年度	自治体(行政)			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜癒しのレシピ」を開発。食文化栄養学科の学生が弁当2種「和ごころ弁当」・「よりどりみよしのまんぷく弁当」と惣菜「スイートポテトサラダ」を考案。三芳町立中央公民館での試食会においてメニューの説明、弁当と惣菜の披露を行った。弁当、惣菜はJAいるま野農産物直売所「あくれっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶ハーモニーにおいて販売された。
264	女子栄養大学	小川町のプチギフトを考案・販売	令和4年度	自治体(行政)			食文化栄養学科の学生が地元商店・農家、観光案内所と協働し小川町のプチギフト「Ogawa's Cookies & Tea Set」(おからクッキーとカモミールティー)、「ギフト用元祖木田ホルモン羊いたれおよび販売促進ツール」を考案した。商品はマルシェがおまち、「観光案内所むすびめ」で販売された。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
265	女子栄養大学	桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和4年度	自治体(行政)			桶川市の桶川市役所内会議室にて、令和4年度桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」が開催され、本学教員が「免疫力を高め、強い体をつくる」の演題で講演(「免疫について」・「免疫力を高め、強い体をつくるポイント」・「強い体を作るための食事のポイント」)を行った。桶川市スポーツ少年団に所属する児童の保護者の他38名が参加した。
266	女子栄養大学	穂と山町主催「はとやま工コレシビコンテスト」で特別賞を受賞	令和4年度	自治体(行政)			鳩山町の「はとやま工コ推進事業」の取組のひとつである、食工コなアイデアレシピを募集する「はとやま工コレシビコンテスト」に本学より実践栄養学科の学生5名が応募し、その内の1名が特別賞を受賞した。また、当コンテストの審査員長を本学教員が務めた。応募レシピの中から「女子栄養大学特別賞」を選出し、計量カップ・スプーン・ヘラのセットと書籍『新・こどもクッキング』(本学出版部発行)が受賞者に贈呈された。
267	女子栄養大学	久喜市主催「第8回クッキー甲子園」コンテストに協力	令和4年度	自治体(行政)			久喜市主催による「第8回クッキー甲子園」コンテストにおいて本学教員が審査員を務めた。5市町より6校の高等学校(北本高校、庄和高校、久喜北陽高校、久喜高校、昌平高校、鴻巣高校)が参加した。
268	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～人気の副菜編～」作成の協力	令和4年度	自治体(行政)			富士見市との取組として富士見市文化施設(ピアザ☆るじみ)の食育推進室にて、本学の学生食堂で提供されているメニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～人気の副菜編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。
269	女子栄養大学	富士見市学校給食新メニューの開発に協力	令和4年度	自治体(行政)			富士見市学校給食センターとの食育連携事業として「富士見市施行50周年記念 地産産物野菜を使用した学校給食メニュー」の開発に実践栄養学科の学生が協力し、2023年1月31日、富士見市内17校の小中学校に学校給食として提供された。(ごはん、牛乳、野菜たっぷり味噌汁(富士見市隣町の三芳町産小松菜入り)、かぶとひき肉のトトロおなかかけ(市内産かぶ入り)、れんこんの彩りサラダ、富士見いちごゼリー(市内産いちご入り))
270	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使った新スイーツを学生が考案	令和4年度	自治体(行政)			本学食文化栄養学科の学生が卒業研究の一環で、地域の一般社団法人、地元企業、農家の協力のもと、埼玉県秩父地域の食材を使用した地産地消のスイーツを開発した。開発したスイーツは1市4町の食材を12種使用した9種類のバウンドケーキで、本学駒込キャンパス菓子工房プラントや地元商店で販売された他、地元の飲食店で提供された。
271	女子栄養大学	桶川市の特産品「紅花」を使ったレシピを考案	令和4年度	自治体(行政)			本学食文化栄養学科の学生が、卒業研究の一環で、自身の地元である桶川市の特産品「紅花」を使った10のレシピを考案し、レシピサイトクックパッドに公開した。桶川市の協力のもと考案したレシピは「紅花のパン」「菓譜中華スープ」、「紅花ゼリーと梨のコンポート」などで、市が発行する『広報おけがわ(令和5年3月号)』では考案レシピの一部が紹介された。
272	女子栄養大学	本学監修の減塩漬物商品2種が株式会社ピュルスコポレーションにて販売	令和5年度		産業界(企業等)		所沢市に本社を置く漬物メーカーの株式会社ピュルスコポレーションより、本学の監修した減塩漬物商品2種が販売された。「かぼす」を使用することで、漬漬商品にあまり見られなかった減塩手法を用い、豊かな香りや味わいを実現した。「食当たりの献立」の食塩量を意識し、小鉢1皿分(30g)で0.3gの食塩相当量になるよう、食塩相当量1.0g/100g以下となっている。
273	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室」の作成に協力	令和5年度	自治体(行政)			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(和食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
274	女子栄養大学	戸田市『すこやかTODA弁当』4種を考案	令和5年度	自治体(行政)			令和5年3月に包括連携協定を締結した戸田市との取り組みのひとつとして、本学学生が『すこやかTODA弁当』4種を考案。期間・数量限定で市内店舗で販売された。
275	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使った新スイーツを学生が考案	令和5年度	自治体(行政)			本学の学生が卒業研究の一環で、秩父地域の観光公社、地元企業、農家の方々の協力のもと、秩父地域の食材を使用した地産地消のスイーツレシピを考案した。スイーツは夏と冬にそれぞれ2種類ずつ考案され、地元商店で販売された他、地元の飲食店で提供された。
276	女子栄養大学	女子栄養大学 食文化栄養学科 × 埼玉県坂戸市 × JALいま野協働プロジェクト 開始	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		2023年8月31日(やさいの日)より、坂戸産の農産物を活用した健康レシピ動画を学生が制作し、坂戸市公式YouTubeチャンネルにおいて配信開始。本学・坂戸市・JALいま野坂戸農産物直売所の産学官協働の取り組みとして、地産地消の推進、市民の望ましい食習慣の形成等につなげていくことが目的。
277	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2023「セルビアフェスタ」に参加協力	令和5年度	自治体(行政)			富士見市で国際交流フォーラム2023「世界へのとびら」が開催され、同市とセルビア共和国シャツ市が姉妹都市を提携していることから実施しているセルビアフェスタにて本学教員とゼミ生が参加協力し、ゼミ生が作ったセルビア産ラズベリーを使用したラスベリーケーキと学生の卒業研究の一環で作ったさつまいもワッフルを来場者にプレゼントした。また、世界のお茶体験として6ヶ国7種類のお茶の試飲も行った。
278	女子栄養大学	小川町のシェアキッチン「TOIKIBA OGAWA」でワンデイカフェを開催	令和5年度	自治体(行政)			食文化栄養学科の「地域食振興実習」の授業の一環で、本学の学生8名が小川町のシェアキッチンTOIKIBA OGAWAにてワンデイカフェを開催した。学生たちは小川町に実際に訪れ、地域の関係者や生産者への取材を通して小川町の歴史や地域特性、地産産物について学び、「小川町でもか生まれない味がある」という発見を基に、小川町の魅力と学科で学んだ世界の食文化を掛け合わせ、ランチプレートとスイーツに表現。チラシ作成や事前予約受付も学生が担当した。
279	女子栄養大学	富士見市食育推進事業「野菜たっぷり！手作りパン教室」に協力	令和5年度	自治体(行政)			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜たっぷり！手作りパン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市内在住の小学生と保護者を対象に応募の中から4組が参加し、野菜を使った2種類のパン(パンキンブレッド・カルツォーネ)作りを体験。
280	女子栄養大学	毛呂山町との連携事業「スポーツフェスタもろやま」にて講演を実施	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県毛呂山町の毛呂山町総合公園にて、「スポーツフェスタもろやま」が開催され、イベントの一つである講座『今日からやってみよう！～スポーツをする人の食事～』で本学教員が講演を実施した。
281	女子栄養大学	「小江戸ハンバーガーフェス2023」にて食文化栄養学科の学生が考案した限定ハンバーガーを販売	令和5年度		産業界(企業等)		川越市連禰寺境内で開催された「小江戸ハンバーガーフェス2023」にて、川越市内のハンバーガーショップ「Mrs.hamburger」と共同で本学学生が考案した当日限定のハンバーガーを販売した。販売したのは「山椒の佃煮入り100%和牛バーガー」「うなたま山椒マヨバーガー」「和風大豆ミートバーガー」の3種類で、ときがわ町産の山椒や、最近増加傾向にある外国人旅行者向けに大豆ミートを使用するなど、地域特性を考慮して具材を検討したメニューを考案した。
282	女子栄養大学	寄居町「健康まつり」にて食文化栄養学科の学生がプラントベースフードについて情報発信	令和5年度	自治体(行政)			寄居町の「健康まつり」にて食文化栄養学科の学生が参加し、卒業研究の一環で作成した冊子「プラントベースな食生活ー健康と地球環境にやさしい選択ー」を配布。さらに、冊子を基にプラントベースフードを食べるためのメリットや、考案したレシピのポイントに関するミニ講話も行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
283	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和5年度	自治体(行政)			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜癒しのレシピ」を開発。本学学生が弁当2種「心ほんわかみよし日和」と「しあわせ弁当」を考案。三芳町役場での試食会においてメニューの説明、弁当の披露を行った。弁当、惣菜は、いれるま野農産物直売所「あくれっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶ハーモニーにおいて販売された。
284	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和5年度		産業界(企業等)		さいたま市に本社を置くコープデリ生活協同組合連合会が販売する健康をテーマにしたお弁当メニュー「からだ健やかシリーズ」の監修の他、学生が考案したお弁当メニュー2種類が販売された。
285	女子栄養大学	春日部市との連携事業 地域のPTAの方々に食育講演会を実施	令和5年度	自治体(行政)			春日部市幸松地区公民館にて、地域小中学校PTAの保護者の方々約40名を対象に、子供の食育についての講演会が開催され、本学教員が講師を務めた。
286	女子栄養大学	桶川市と学生が共同で調査・分析を行い、高血圧予防のための動画制作・レシピ考案	令和5年度	自治体(行政)			桶川市との取り組みとして、高血圧予防のため、尿ナトリウム/カリウム比(以下、尿ナトリ比)を下げる食生活の普及活動を進めており、学生2名が中心となり、若年層から高血圧予防となる食生活をするために、30歳代向けの尿ナトリ比低下の啓発動画の作成と幼い子どもと共に食べるのできる、桶川市の農産物を使用した季節ごとのレシピを考案した。
287	女子栄養大学	桶川市との連携事業 高齢者向けの食事講座を2週に渡って開講	令和5年度	自治体(行政)			桶川東公民館にて「一日にどれくらい食べればよいの?～健康的に長生きするために。シニア世代の一日の食事を学ぶ」と題して、本学の教員が2週に渡り講演と調理指導を行った。
288	女子栄養大学	スーパー「ベルク」のスイーツを考案	令和5年度		産業界(企業等)		ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学の学生がスイーツ(「クワッフル」「和わっふる～宇治抹茶と生チョコ～」)を考案し、期間限定で販売された。
289	女子栄養大学	埼玉県久喜市の学校給食献立を食文化栄養学科の学生が考案	令和5年度	自治体(行政)			本学学生が「久喜市産農産物を活用した献立」をテーマに市内の学校給食献立を考案。ご飯を主食にした献立とパンを主食にした献立の2種類が、久喜市内の小・中学校で提供された。
290	女子栄養大学	学生がレシピを考案した「みそぼとコッペ」と「みそぼとくるみコッペ」を『秩父はんじょう博』にて試験販売	令和5年度		産業界(企業等)		埼玉縣信用金庫が秩父地域の新名物を生み出すためにコーディネーターとなり、みそぼと本舗有限会社が製造する秩父地域のご当地グルメである「みそぼと」、有限会社秩父学給パンセンターの「コッペパン」、社会福祉法人清心会で作る「借金なし味噌」、その他秩父産の食材を組合せ、本学学生がレシピを考案した。
291	女子栄養大学	久喜市主催「第9回クッキー甲子園」コンテストに協力	令和5年度	自治体(行政)			久喜市主催による「第9回クッキー甲子園」コンテストにおいて本学教員が審査員を務めた。6市町より7校の高等学校(久喜北陽高校、庄和高校、昌平高校、北本高校、久喜高校、白岡高校、蓮田松韻高校)が参加した。
292	女子栄養大学	白岡市との連携事業 市民の方を対象にした講演会を実施	令和5年度	自治体(行政)			白岡市保健福祉総合センターにて、白岡市の食育講座において、本学教員が「日本の食文化を伝える」というテーマで、市民の方を対象とした講演を実施した。
293	女子栄養大学	ASTRA FOOD PLAN 株式会社を取り組む「埼玉 食のサーキュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		富士見市に本社を置くASTRA FOOD PLAN 株式会社を取り組む「埼玉 食のサーキュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力し、富士見市内の飲食店と給食で提供されたメニューを考案した。
294	女子栄養大学	鴻巣市との連携事業 にぎわい交流館「にこのす」にて地域の食材を使用したメニューを考案	令和5年度	自治体(行政)			鴻巣市商工観光課と鴻巣市にぎわい交流館「にこのす」(運営企業アイル・コーポレーション)とともに、鴻巣市で生産されている食材やエディブルフラワー(食用花)を使用して、「にこのす」内のカフェで提供されるメニューを学生が考案した。
295	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 「はとやまエコレシピコンテスト」に協力	令和5年度	自治体(行政)			鳩山町の「はとやま食工推進事業」の取組のひとつである、食工コナアイデアレシピを募集する「はとやま食工レシピコンテスト」で本学教員が審査員長を務めた。また、学生5名がコンテストに応募し、その内2名が優秀賞と特別賞をそれぞれ受賞した。
296	駿河台大学	市民のための無料法律相談(飯能市、入間市)	平成6年度	自治体(行政)			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
297	駿河台大学	市民の大学 I・II・III・IV	平成10年度	自治体(行政)			本学教員や各分野の職者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。
298	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、「地域インターンシップ/インターンシップ I」という科目名で単位が認定される。
299	駿河台大学	学生参加による「まち」活性化プロジェクト	平成18年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。令和5年度実施したプログラムは、「まちおこしイベント(入間)」「まちおこしイベント(飯能)」「環境保全活動」「地域を紹介する映像制作」「ブランニングコンテスト」「木のおもちゃデザイン」。
300	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界(企業等)			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 (1) 地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 (2) 地域振興活動推進への助言・指導 (3) 地域企業へのインターンシップの促進 (4) 大学における金融教育の促進 (5) 地域教育機関における金融教育方法の共同研究 (6) その他産学連携活動に寄与する事項の推進 令和5年度は「輝け! 飯能ブランニングコンテスト」、親子ミニ駅伝等を開催。
301	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間(1週間)にわたり授業を行う。
302	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけでなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
303	駿河台大学	おでかけフェスタ	平成26年度	自治体(行政)			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場にプログラムを実施。学生も参加している。
304	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体(行政)			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。
305	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)事業	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム(TJUP)に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携、協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。合同企業説明会など実施。
306	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成30年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			埼玉県の委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施。飯能の里山資源を活用した「体験」を提供するアウトドア・スポーツ・ツーリズムを盛り上げる活動を進めている。
307	駿河台大学	駿河台大学オンライン公開講座	令和3年度	自治体(行政)			近隣自治体(入間市、所沢市、飯能市、日高市)の後援のもと、本学教員に加えて4市より講師派遣をしていただき、様々なテーマを取り上げた公開講座である。全6回、オンライン(Zoom)で実施。
308	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	中学校			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって“生きる力”を身に付けることをサポート。
309	駿河台大学	小学生社会科見学	不明	小学校			飯能市内小学校の社会科見学受入。
310	聖学院大学	上尾市との包括連携協定に基づく「パープルリボン・プロジェクト」事業	令和5年度	自治体(行政)			上尾市との包括連携協定に基づき、2023年度は新たに官学間連携事業「パープルリボン・プロジェクト(女性に対する暴力をなくす運動)」を開始した。上尾市は人権週間(12月4日～10日まで)に合わせ、人権啓発イベント「あけおこエコーマンライツミーティング21」を開催。同イベントにてパープルリボン・プロジェクトのブース展示がされるとともに、聖学院大学の学生が作成したDV防止啓発ポスターが披露された。
311	聖学院大学	上尾市大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し、年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。令和5年度のプログラムは大谷本郷自治会館にて12月16日(土)に実施された。
312	聖学院大学	福祉教育について考える会こころの輪「こころ」	平成29年度	自治体(行政)			「こころの輪(通称:こころ輪)」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」と目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。令和5年度は2月10日(土)に伊奈町PTA連合会が開催する人権講座において対面で小中学校7校の保護者に対して「こころ輪」の講座を行った。
313	聖学院大学	上尾市立南中学校との連携事業	平成30年度	自治体(行政)	中学校		平成30年度より上尾市立南中学校との連携事業を実施している。令和5年度は2月29日に上尾市立南中学校の体育館において防災教育と将来の進路(キャリアガイダンス)について本学学生による特別講義を行った。
314	聖学院大学	「いきいきサマーフェスティバル」におけるステージ出演、運営ボランティア	令和4年度	公益財団法人			公益財団法人いきいき埼玉が主催する「いきいきサマーフェスティバル」において、学生たちが演奏披露、防災レンジャーショー、イベントの運営協力などを行った。
315	聖学院大学	埼玉県防災学習センターにおける、ステージ出演	平成31年度	自治体(行政)			埼玉県防災学習センターにて、学生ボランティアが防災レンジャーショーを行った。
316	聖学院大学	「基礎自治体マネジメント研究会」の開催	令和3年度	自治体(行政)			令和3年度より本学と包括連携協定を結んでいる上尾市、さいたま市、春日部市、桶川市、埼玉県比企管内8町村(川島町、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、鳩山町、ときわ町、東秩父村)、岩手県釜石市の自治体職員研修を目的とした、「基礎自治体マネジメント研究会」を発足させた。具体的には、多くの自治体において喫緊の課題となっている「組織の担い手たる人材育成」を支援する事を目的とし、協定を締結した自治体職員を対象に定期的な研修プログラムを実施している。令和5年度は全10回の研修プログラムを開催した。
317	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づく合同会社Fpalとの連携プログラムの実施	令和5年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通して令和5年度は合同会社Fpal(東京都豊島区)との連携に基づき、産・学連携による金融教育の授業プログラムの実施(埼玉県立川越女子高校)について支援を行った。
318	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ	平成23年度	自治体(行政)			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校5～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものためのための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、令和5年度は計4回の講義プログラム(定員60名)が実施され、本学においてはそのうちの1回の講義プログラムが行われた。
319	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界(企業等)			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和5年度はコロナ禍を経て、3年ぶりに「さいたまKI-TAまつり」が10月22日(日)に開催された。本学の学生がボランティアとして当日の運営やイベント出演に携わった。
320	聖学院大学	埼玉中小企業家同友会との連携	令和5年度	産業界(企業等)			令和5年4月27日に一般社団法人埼玉中小企業家同友会と産学連携包括協定を締結。埼玉県内の中小企業との連携体制を構築するとともに、本学の教員を企業の研修やメンタルヘルスのプログラムに派遣する等、地域社会の課題にとり組み体制の構築を図る。今後、加盟している企業に向けて、社会人の学び直し機会を「履修証明プログラム」を通じて提供することが期待される。本学との共同企画として令和5年度は9月22日(金)に「聖学院大学 地元成長企業就職プログラムキックオフガイダンス」を開催し、参加した地元企業との連携を進めた。
321	聖学院大学	自由の森学園高等学校との高大連携	令和5年度	高等学校(高大連携)			令和6年3月6日(水)に本学は自由の森学園高等学校との連携協定を締結した。平成23年度の東日本東北大震災の復興支援を契機として自由の森学園高等学校との交流が始まり、これまでボランティアや福祉に関連する授業の実施や東北ボランティアスタディツアーを通じて、連携を行ってきた。相互の信頼関係に基づき、教育・研究及び社会貢献等の分野で相互に協力を行い、更なる連携を進めていくことが期待される。協定締結前の令和6年2月1日(木)には本学において自由の森学園高等学校の生徒と本学学生による心理福祉学部の北欧研修に関する合同学習会を開催した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
322	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま	平成23年度	大学・短大(大学・短大間連携)			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
323	聖学院大学	埼玉県出前講座	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県庁でSDGs推進担当である計画調整課の職員による「埼玉版SDGs」をテーマにした出前講座を7月12日(水)に開催した。
324	聖学院大学	埼玉県庁オープンデーにおけるサークュラーファッションショーへの参画および資源循環ワークショップの実施	令和5年度		埼玉県庁の資源の持続可能な利用促進プラットフォーム会員の企業		埼玉県資源循環推進課より協力依頼があり、11月14日に開催された県庁オープンデーでの「サークュラーファッションショー」に参画。大学内での古着回収で集められた古着を使ってショーのテーマに合わせたコーディネートやショーでの演出など企画運営に携わった。当日は学生がステージ上でモデルを務め、また、古着の端切れを使った体験ワークショップも行った。
325	聖学院大学	聖学院大学公開講座	昭和46年度	自治体(行政)			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和5年度は計3講座が開催され、教養講座、英会話講座についてはオンラインでの実施、女声コースについては対面による実施で行われた。
326	聖学院大学	聖学院大学公開講座	令和5年度	自治体(行政)			春日部市教育委員会と共催して、令和5年度より聖学院大学公開講座を実施している。令和5年度は7月22日(土)、29日(土)(会場:春日部市教育センター2階 視聴覚ホール)において「源氏物語の読み方」(教養講座)が、2日間に亘り、開講された。
327	西武文理大学	「入間川七夕まつり」の参加	平成25年度	自治体(行政)			関東三大七夕祭の一つに数えられる地元狭山市の「入間川七夕まつり」に学生ボランティアが多数参画している。やらいの出展のほか、クランステーションやインフォメーションカウンター等の支援、市内特別養護老人ホームからの参加者の車椅子移動支援等を行っている。令和5年度は竹節り(やらい)の掲出のみ行った。
328	西武文理大学	サヤマdeシネマ	平成29年度	自治体(行政)			2017年に狭山市初の学生が作る上映会として立ち上がった「サヤマdeシネマ」は、毎年10月に有楽町・銀座地区で開催される東京国際映画祭にインターンとして参加してきた西武文理大学の学生が「西武文理大学の狭山で私たちの東京国際映画祭を作りたい！」という一言からはじまった。 第7回目は日本とインドネシア国交樹立65周年を記念して、4作品中3作品がインドネシアに関連する映画が上映された。上映作品の監督トークショーや広報も学生が主体となり運営を行った。「サヤマdeシネマ」は地元・狭山を盛り上げるべく、狭山愛を育む地域に根付いたイベントを目指している。
329	西武文理大学	柏原小学校「防災教室」	平成25年度	地域団体(NPO等)			狭山市立柏原小学校の児童を対象とした「防災教室」に本学学生が対面で開催。災害への備えと健康管理の重要性について小学生にクイズ形式で発表した。
330	西武文理大学	さやま市民大学	平成22年度	自治体(行政)			狭山市が開設した「さやま市民大学」の「西武文理大学連携 より豊かな生活のためのヒントを探る講座」について、カリキュラムの監修・講師を本学教員が担当した。令和5年度は対面で開講した。
331	西武文理大学	彩の国大学コンソーシアム 事業	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県西部に所在する彩の国大学コンソーシアムにおいて、生涯学習および地域社会への貢献を目的として平成14年から加盟大学が共同で公開講座を実施している。
332	西武文理大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP) 事業	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として参画。多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。(単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等) 令和5年度はTJUP地域交流委員会主催 オンライン講座、共同FD・SDの実施運営に携わった。
333	西武文理大学	埼玉県物産観光協会との連携	令和4年度	産業界(企業等)			埼玉県の物産及び観光を体験し、埼玉県の物産や観光の振興に役立てるイベントを行った。令和5年度はサービズ経営学部のアクティブラーニング科目「総合演習Ⅰ」の一環として埼玉魅力発信プロジェクトを立ち上げた。 ①令和5年12月9日 埼玉魅力発信プロジェクト「飲んで茶いたま」 ②令和6年2月15日 埼玉物産観光フォーラムでの活動報告
334	西武文理大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成21年度	自治体(行政)			「埼玉県福祉部と西武文理大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、リカレント教育を実施した。令和5年度は3名の受講があった。
335	西武文理大学	ちちぶアンバサダー活動	令和4年度	地域団体(NPO等)			大学生や高校生に秩父地域の企業を直接取材し深く知ってもらうとともに、SNSからの学生目線の発信によって、より多くの人に秩父地域の企業を知ってもらうことをねらいとしている。秩父の地元企業の取材・SNSによる報告を行った。
336	西武文理大学	老人福祉センター連携事業	令和4年度	地域団体(NPO等)			令和6年2月16日 特別養護老人ホーム「さやま苑」においてハンドベルサークル・ルチア「Luccia」が演奏会を開催した。
337	西武文理大学	狭山市奥富地区まちづくり事業「地域の防災」	令和5年度	自治体(行政)			夏休みの小学校の児童を対象に備蓄倉庫の中身についてクイズ形式の講演を行った。
338	西武文理大学	さやまカルチャーフェスティバル	令和4年度	自治体(行政)			令和5年度は体験型イベント(シーリングスタンプ作り)、運営に協力した。
339	西武文理大学	市内中小企業等を対象にしたセミナーの開催	令和3年度	産業界(企業等)			SDGsをテーマに狭山市内の中小企業を対象としたセミナー(基調講演・ディスカッション)を開催した。 令和6年1月31日 セミナーテーマ「SDGs(持続可能な開発目標)時代の脱炭素経営」
340	西武文理大学	災害と地域づくり	令和4年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	授業を通じて、日本や世界における災害に関する科学的知見・実態・対策を学び、防災・減災のための地域づくりにおける市民・専門職・行政の役割と機能について考察し、より安全で安心な地域を築く力を身につける。地元自治会、旅館経営者等をゲストに招き防災対策について講話いただいた。
341	西武文理大学	いるま自治会DX推進事業	令和5年度	自治体(行政)			入間市が推進するDX化を後押しするため、DX推進員に委嘱された本学学生が行事等の開催案内や資料配布のデジタル化、会議のオンライン化のノウハウを伝え、自治会運営の活性化を図る。令和5年度は入間市内の自治会長を中心にオンライン会議システムの使い方をレクチャーした。
342	西武文理大学	ちちぶ地域デザインセミナーの開催	令和5年度	自治体(行政)			協力・連携協定に基づき、埼玉県秩父地域振興センターとの共催により、秩父地域の地域振興を図るための地域デザインを多様な主体の連携で考える、ちちぶ地域デザインセミナーを開催した。 第1回:令和5年11月11日「秩父地域の「地域デザイン」を語る」 第2回:令和6年3月11日「交流なくて活力なし〜インドネシアとのグローバル交流と「ちちぶ伝習館」構想〜」

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
343	西武文理大学	「サービス・ラーニング(スポーツマネジメント)」	令和5年度	地域団体(NPO等)			プロスポーツ団体(埼玉武蔵ヒートベアーズ)と連携し、受付、チケット販売、グッズなどの物販、ファールボールの注意喚起や観客席の整備、BSO(電光掲示板)の表示など運営を担当。試合前のピラ配りや、集客のためのイベント企画、試合中の集客を担当した。
344	西武文理大学	オレンジガーデニングプロジェクトinさやま	令和5年度	自治体(行政)			「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という思いを共有し、全国各地で認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を楽しみながら育て、花を咲かせるプロジェクト。狭山市内の企業、商店、サロンやサークルが参加しており、本学では敷地内のプランターや学生が個人でマリゴルドの花を育て認知症への理解啓発を深めた。
345	大正大学	社会共生学部公共政策学科フィールドワーク	令和2年度	自治体(行政)			R5はさいたま市、松伏町が受入先となり、社会共生学部公共政策学科のフィールドワーク(インターンシップ)を実施している。
346	大正大学	地域創生学部地域創生学科地域実習	令和4年度	自治体(行政)			地域創生学部ではH28から地域実習を実施しており、R5は秩父市が受入先となり地域実習を実施している。
347	大東文化大学	東松山市きらめき市民大学、大学院への講師派遣	平成19年度	自治体(行政)			東松山市との協定に基づき、同市が運営する市民大学に講師を派遣しており、7講座に対して講師派遣を行った。
348	大東文化大学	「子ども大学ひがしまつやま」の開校	平成26年度	自治体(行政)			東松山市・大東文化大学で構成される実行委員会により、9月初旬から全4回に亘って、大東文化大学キャンパスならびに市内施設において、大学教員や専門家による講義を行った。
349	大東文化大学	東松山市スポーツ発見教室	平成30年度	自治体(行政)			東松山市内小学生を対象に、スポーツ科学科教員・学生によりスポーツの楽しさを体験する講座を6月、10月、1月に実施した。
350	大東文化大学	東松山市スポーツ少年団母集団育成研修会	平成28年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		東松山市内スポーツ少年団に所属する児童の保護者、指導者、その他関係者を対象に、スポーツ科学科・健康科学科教員によりスポーツ実施時に考慮すべき知識について研修を実施した。
351	大東文化大学	東松山市社会教育講座	令和5年度	自治体(行政)			東松山市民、在勤、在学の方を対象に健康科学科教員により、健康の観点からコーヒーと生活習慣病の関係性についての講座を行った。
352	大東文化大学	東松山市スポーツ指導者研修会	令和5年度	自治体(行政)			スポーツ指導者を対象にスポーツ科学科教員により、指導者の意識高揚・資質の向上を図ることを目的に講義を行った。
353	大東文化大学	学生の東松山市観光大使就任	令和5年度	自治体(行政)			東松山市観光大使に特別強化運動部の学生5名が就任し、日本スリーデーマーチをはじめとしたイベントに参加して自治体のPRを行った。
354	大東文化大学	ときがわ町スポーツ連携事業「スポーツ教室」	令和4年度	自治体(行政)			ときがわ町の小・中学生を対象としたスポーツ教室「バスケットボール教室」に、男子バスケットボール部学生を派遣した。
355	大東文化大学	ときがわ町スポーツ少年団事業「スポーツレクフェスタ」	令和5年度	自治体(行政)			ときがわ町の小学生を対象とした「スポーツレクフェスタ」にスポーツ科学科教員を指導者として派遣した。
356	大東文化大学	ときがわ町民体育祭	令和5年度	自治体(行政)			ときがわ町の町民を対象とした「ウォーキング講習」にスポーツ科学科教員を講師として派遣した。
357	大東文化大学	久喜市いきいき女性議会	令和3年度	自治体(行政)			「2023久喜市いきいき女性議会」に、社会学科のゼミの取り組みの一環として参加し、学生2名が女性議員を務めた。
358	大東文化大学	新座市大学・関係機関連携事業講座 新座市野火止公民館講座	令和3年度	自治体(行政)			新座市民を対象に英米文学科教員により「マザーグースとイギリスの児童文学『ピーターラビットのおはなし』を中心に」のテーマで講座を行った。
359	大東文化大学	埼玉まなびプロジェクト協賛事業 オープンカレッジ	—	自治体(行政)			生涯学習講座(大東文化大学オープンカレッジ)として、53講座を開講し961名が受講した。
360	大東文化大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	東武東上線ならびに西武線沿線に位置する大学と自治体で、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的として、2018年度より活動を行っている。
361	大東文化大学	TABETE レスキュー直売所	令和3年度	自治体(行政)		産業界(企業等)	大東文化大学、東松山市、東武鉄道株式会社、埼玉中央農業協同組合、株式会社コークッキング、株式会社大塚応援カンパニーの6者で産官学連携による協定を締結し、東松山市周辺のJA直売所で夕方までに売り切れなかった農産物を東武東上線森林公園駅から列車に積み込み池袋駅まで輸送し、再販売して食品ロス削減を目指す取り組みを2021年度より行っている。
362	東京家政大学	《東京家政大学・狭山市共催講座》	平成18年度	自治体(行政)			狭山市スポーツ振興課と連携し、市民向け健康増進公開講座を前期・後期各1講座実施。 【前期】 「家庭でできる簡単!健康ストレッチ体操~思いっきり体を伸ばし、心身をリフレッシュ!!~」。 ストレッチについての正しい知識をお伝えし、家庭でできる、役立つストレッチ体操をアドバイスや質疑応答を交えながら行った。また、各測定によって自身の柔軟性や柔軟性に関わる身体機能の状態を把握し、ストレッチによる効果を実感してもらった。狭山市在住・在勤の方対象。25名参加。 【後期】 「体幹(腹筋・背筋)機能を知って健康増進!—体幹の柔軟性と筋活動の関係を知ろう—」 解剖学的知識を基に、筋肉の収縮はどのように起こるかを学んだあと、日常的に行っている運動の活動と体幹を鍛える目的の筋活動の違いを確認し、効果的な運動とは何か、その方法について実習しながら習得をした。狭山市在住・在勤の方対象。20名参加。
363	東京家政大学	《入間市共催研修会》小学校教員向け集中研修会	小学校外国語活動集中研修会: 平成22年度 理科観察実験実技研修会: 平成25年度	自治体(行政)			「小学校外国語活動集中研修会」は、基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組みやすく、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 「理科観察実験実技研修会」は、理科の観察実験授業を「安全に」「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。小学校または中学校教員が対象。 「小学校外国語活動集中研修会」18名、「理科観察実験実技研修会」13名参加。
364	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	平成22年度	自治体(行政)			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら、子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。狭山市・入間市在住の小学4~6年生が対象。7月・8月・9月に3日間4コマ形式で開催。狭山市37名・入間市24名参加。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
365	東京家政大学	《東京家政大学・狭山市・入間市主催、TJUP共催》子どもスポーツ体験教室	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		近隣自治体のスポーツ推進の一環として生涯スポーツの充実化を目指す取組みとして、狭山市・入間市との連携により2012年(平成24年)から「スポーツ体験教室」を継続実施している。この「スポーツ体験教室」を通して、教員を目指す学生達を事前指導により新たな指導法の実践を促し、協力校を含む埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)加盟大学の学生には当日補助業務により、地域の児童を対象に様々な運動遊びを体験させ、各個人の能力・可能性を広げる等の教育支援活動を取組む事業とし、今後の大学生活におけるネットワークを構築するとともに、地域社会への貢献力を学ぶ機会とする。当日は36名の児童の参加があり、学生10名を含む34名のスタッフで実施した。
366	東京家政大学	《埼玉県》リアル体験教室・プレミア事業 ジュニアサイエンススクール2023	平成29年度	自治体(行政)			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議主催、埼玉県教育委員会後援、小学4・6年生対象の、夢の実現を応援するための「学びと体験の教室」の、企業や大学等が主催している「プレミア教室」に参画。(1)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」おもしろサイクロキストリン実験～味と香りを封じ込め、取り出す化学～には、26名参加。(2)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」「調理」を科学の目で見ながら、再発見！ー「うま味」とは何か？親子で味わってみよう！ーには、18組36名が参加。(3)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅲ」プログラミングを楽しもう！ーmicro:bitを使ってプログラミングを体験してみよう！ーには、定員の1.7倍を超える43組86名の親子の応募があり、24組48名が参加。(4)プログラミング教室「楽しく学ぶ！プログラミング～Scratchでゲームをつくらう～」には、20名が参加した。
367	東京家政大学	彩の国大学コンソーシアム事業	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)			彩の国コンソーシアムは、埼玉県内にある8大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置された。年に一度当番校が公開講座を行っている。
368	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として参画。 多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。(単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等) 令和5年度は、TJUP学生イベント交流委員会主催共同FD・SD実施、「介護・福祉体験教室」・「TJUP大学対応モルック競技大会」・「音楽大学の授業(ベートーヴェン編)×はじめてのフルーツ体験」への運営参加、TJUP県西部大学連携リレー公開講座実施、TJUP共催「吉見町かけこ教室」運営参加、TJUP幹事会主催共同FD・SD実施、TJUP主催「TJUPランド～子どもフェスタ～」運営参加、TJUP幹事会主催共同FD・SD実施、TJUP主催「TJUPランド～子どもフェスタ～」運営参加。
369	東京家政大学	《入間市共催研修会》 保育者研修会	令和元年度	自治体(行政)			幼稚園・保育園等における保育現場での様々な課題についての対応のほか、研修により、保育者意識の向上及び実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 新任から10年未満の保育者(幼稚園教諭・保育士・保育教諭)対象。14名の参加があった。
370	東京家政大学	Tokyo Kasei 塾2023(保育者編 専門講座)	令和4年度	自治体(行政)			少人数で課題を明確にし、研究開発につながる専門講座として、Tokyo Kasei塾「食品編」を行っていたが、2022年度より狭山市子ども支援部保育幼稚園課・入間市子ども支援部保育幼稚園課と連携(後援)協力し、狭山市・入間市他、他市の公立・私立等の幼稚園・保育園等の保育者を対象とした「保育者編」を開催。令和5年度は「子ども主体の保育を考える」～保育の質を高める取り組み～をテーマにリレー形式で講座を実施した。
371	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜令和5年度＞ 言語コミュニケーション学部3年生1名を派遣。
372	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体(行政)			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 ＜令和5年度＞ 川越市役所環境部へ1名の学生を派遣。
373	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生(スチューデント・サポーター)の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 ＜令和5年度＞ コロナによる中断後再開し、実数17名延数168回の学生が参加。
374	東京国際大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成21年度	自治体(行政)			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 ＜令和5年度＞ 「簿記」講座を開講、参加者1名。
375	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界(企業等)			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等を行う。 ＜令和5年度＞ 科目名:「地域金融講座(飯能信用金庫寄附講座)」
376	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催。 ＜令和5年度＞ 演題:「それを買うのはなぜですかー見せびらかさない賢い消費 講師:吉田 量彦(東京国際大学 商学部 教授) 会場:東京国際大学 第2キャンパス 2522教室 受講料:500円

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
377	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人材』を育成するため、大学・自治体(行政)・民間(企業及びNPO等)の3者が連携・協働。①地域商業・産業の活性化、②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信、③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる人材育成を目指し、地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的。 <令和5年度> 1. 公民学連携会議の実施 川越の地方創生や地域活性化に関する産学官の「川越公・民・学連携会議」を2か月に1回のペースで開催。本校が実施しているプロジェクトの進捗や川越市の地域活性化案について公民学で意見交換を行う。 2. プロジェクトAの実施 川越市のまちづくりやフィールドワークの成果を確認すべく、全国の大学生が参加する「大学生観光まちづくりコンテスト2023」へ出場。福島県の復興や観光振興に関する課題について企画提案を行い、全国4位にあたる「福の希望賞」を受賞。 3. プロジェクトBの実施 地域の企業、他大学、各種団体と連携する地域活性化プロジェクトを実施。JTB川越支店と連携し、川越のさつまいもPRイベント「第2回コエド芋パーク」に、主に広報・プロモーション支援チームとして学生が参画。クリエイティブ製作、SNS、インバウンド誘客、レシビのチームに分かれ、学生主体で活動を進めた。
378	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員(行政)	警察(埼玉県警察本部)		キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。 <令和5年度> 科目名:「地域の安全と警察」
379	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界(企業等)			キャリアプランニング教育の一環として、商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち、就業機会の拡大を目的として実施。 <令和5年度> 11事業所に合計17名の学生を派遣
380	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的に実施。 <令和5年度> 派遣学生数:8名 活動内容: 1)授業における学習支援 2)部活動における支援 3)学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援 4)その他、学校教育に関する支援
381	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界(企業等)			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展、②事業の経営理念・経営目標・経営戦略、③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制(資金調達)の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 <令和5年度> 「現代企業論」を川越商工会議所の会員企業に公開。
382	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体(行政)			川越市産業振興課から商学部が依頼され、産業振興のためのフェスティバルに参加。 <令和5年度> 令和5年度は参加せず。
383	東京国際大学	川越市外国籍市民会議	平成30年度	自治体(行政)			川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に参加。 <令和5年度> 川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に東京国際大学より留学生1名が委員として会議に参加。
384	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		<令和5年度> 1. 「ビジネスソリューション」の授業において、就職価値観を醸成するという目的で埼玉雇用労働部から、埼玉県の企業から具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業を展開した。本年度は、みたけ食品工業株式会社との協力のもと新商品の提案を行った。 2. 川越市角楽商店街振興組合の協力のもと、商学部の専門科目である「企業研究」を実施した。本授業では、PBL型の授業として、商店街の課題を対象とした実践的な学習、経営者の授業参加による学問と実務の有機的な融合、キャリア育成を支援するための体験型授業を目的として実施した。
385	東京国際大学	特殊詐欺啓発動画制作	令和3年度	自治体(行政)	埼玉県警川越署生活安全課		<令和5年度> 埼玉県警と連携し、映像制作の授業で特殊詐欺被害防止のためのビデオを作成し、警察広報の一環として特殊詐欺被害防止のための啓発活動に協力する。
386	東京国際大学	筑波大学附属坂戸高等学校 異文化交流イベント	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			筑波大学附属坂戸高等学校を本学留学生が訪問し、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした異文化交流イベント。 <令和5年度> 派遣留学生の数:10名 テーマ:ハロウィン、アメリカの食習慣、アメリカの教育、クリスマスの伝統など
387	東京国際大学	川越市立月越小学校 国際理解教育支援	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			「国際人を知る」をテーマとした総合学習の授業に本学の留学生が参加し、児童からの「出身国の文化や良さ」等の質問をインタビュー形式で答える形で、児童たちの国際理解学習に協力した。 <令和5年度> 派遣留学生の数:2名

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
388	東京国際大学	埼玉県立川越高等学校 国際教育への留学生派遣	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			川越高校では毎年冬休み期間を利用し、「Winter English Challenge」と称した英語能力、異文化理解向上を目的としたプログラムを開催している。そのプログラムに留学生を派遣。 <令和5年度> 派遣留学生の数:5名 令和5年度は川越高校1・2年生約30名がこのプログラムに参加。小規模グループに分かれ英語を使用してディベートを行う計画があり、本学から、ディスカッションを円滑に行うためのグループリーダーとして英語が堪能な留学生を派遣し、この学習プログラムに協力を行った。
389	東京電機大学	埼玉産業人クラブ TDU産学交流会	平成2年度	産業界(企業等)			埼玉産業人クラブ会員企業の技術レベル向上を図るため本学と産学交流を行う。年間に関わり、技術講演会・事例発表会、先進企業・工場見学会、学生対象企業・業界研究会等を開催。会員企業27社と本学との連携により運営している。
390	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			彩の国大学コンソーシアムへ加盟している10大学のうち、8大学が大学間連携として単位互換に参加している。
391	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大(大学・短大間連携)			加盟協定校の教職員を対象に【研修会】を実施。令和5年度は「地域で【しごと】を生み出す産学連携」をテーマに開催した。
392	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			令和5年度は明海大学との協定により「健康長寿には咬むことが一番」「肌が健やかに保たれるしくみ」をテーマにウエスタ川越にて開催した。
393	東京電機大学	スーパーサイエンスハイスクール支援事業	平成24年度	高等学校連携			埼玉県立松山高等学校が平成24年度に第1期SSHの指定を受けて以降継続して高等学校教員と連携し指導にあたっている。令和5年度は身近な事例をテーマに取り上げ、日常生活にどう数学が利用されているかについて講義をした。
394	東京電機大学	埼玉県坂戸市住宅団地にぎわい再生事業 北坂戸にぎわいサロン運営	平成26年度	自治体(行政)	自治会		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前UR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的ににぎわい再生活動を行っている。令和5年度は、パソコン相談・健康管理アドバイス・ペーパーバンドクラフト教室・編み物クラブのほか、本学留学生との交流会を年間を通じ開催した。
395	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム (ここから武蔵コンソーシアム)	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。令和5年度はワーキングショップや講演会を実施した。
396	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大19校、自治体23市町、事業所等17団体により構成。地域の課題解決のため諸活動を展開。令和5年度は、単位互換・公開講座・地域リスクマネジメント・社会人対象教育プログラムのほか東松山市高坂地区におけるクリーンウォークに参加した。
397	東京電機大学	坂戸市北坂戸公民館連携事業	令和3年度	自治体(行政)	自治会		坂戸市北坂戸地区自治会会員(住民)を対象に【スマートフォン操作講座】を開催した。
398	東京電機大学	UR連携活性化プロジェクト	令和3年度	その他(UR)	自治体(行政)		UR北坂戸団地の活性化ならびに入居者の健康生活支援を目的にURと連携し、団地集会所にてヴァイオリンコンサートを開催した。コンサートはYouTubeにて全国配信。
399	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		川越市共催事業という市民講座。
400	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	自治体(行政)			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをとくに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年1回開講。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
401	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
402	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体(行政)			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
403	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体(行政)			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「入間」の1か所で本プロジェクトを展開している。
404	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体(行政)			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
405	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
406	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
407	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体(行政)			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習(講義・施設見学等)を実施。
408	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
409	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界(企業等)			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2023年度は、「製造プロセスのIoT化からDX化に向けて」のテーマで、本学教授を講師としてマイコンを使ったIoT実習や、デジタル技術を用いた生産技術の開発に取り組んでいる企業の工場見学、また活動から得られた成果や課題の発表を行った。
410	東洋大学	川越市民の水害時における車両避難場所としての施設利用	令和3年度	自治体(行政)			水害時において、川越市の地域住民が避難の円滑を図るため、大学の駐車場を車両避難場所として利用することを認める。
411	東洋大学	毛呂山町放課後学習教室 学習サポート	令和4年度	小学校3・4年生			本学の教職志望学生を毛呂山町立小学校に派遣。学習(宿題・ドリル等)の支援。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
412	東洋大学	サマースクール	平成11年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		川越市および近隣の小中学生を対象に、ロケット作りや速乾コンクリートでの工作、昆虫採集など、様々な実験や体験を通して、工学やものづくりへの関心を育んでもらうことを目的とする。毎年夏開催。
413	東洋大学	川越市小・中・大学連携ふれあい事業	平成18年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		私立小学校、中学校に本学教員を派遣して理科授業を実施。理科離れが危惧される小中学生に、理科の楽しさを伝えることを目的とする。
414	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界(企業等)			ボランティアを活動目的とする愛好会団体のWAPが、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。2023年度も、学内で2回埼玉県赤十字血液センターによる献血事業が実施され、愛好会WAPが企画し、運営サポートを実施した。
415	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体(行政)			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」(主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学)を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が中心となり、本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深めることを目的としたイベントである。本学の学生団体やゼミ等多数参加し、研究発表や交流型イベントを行っている。また「ワールド・ランゲージ」という企画では、本学海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちと会話する機会を提供し、好評を得ている。来場者は、毎回約6,000名で、その運営に多くの本学学生がボランティアとして関わっている。
416	獨協大学	法政総合講座(地域の現場から)	平成16年度	自治体(行政)			近隣の草加市、越谷市、八潮市との関わりの中で、各市が目指すまちづくりや自立した自治体を実現するための新たな行政経営を理解し、学生が自ら地方行政に参加する双方向の授業として、「法政総合講座」を開講し、一部を市民に公開している。この講座は隔年で開催され、前出3市の職員の方が講師となり、地方行政が抱えている課題や新たな取り組みについて講義を行う。
417	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	平成19(2007)年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っている。センタースタッフによる相談対応の他、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っている。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めている。その他、「子育て支援講座」などのイベントも開催してきた。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な実績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰(子ども・若者育成支援部門)を受賞した。
418	獨協大学	草加市共催子育て支援講座	平成21年度	自治体(行政)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、草加市・獨協大学協働宣言に基づき、子育て支援講座を共催している。令和5(2023)年度は「アンガーマネジメント」、「実践!消防士に教えてもらおう子どもの救急法」を開講した。
419	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		2023年、10月22日(日)に開催されたふささら祭りでは、ワールドパザールの運営に文化会「国際親善倶楽部」が協力参加した。また、ステージプログラムには、文化会古典ギター部、文化会フラメンコ部YERBA BUENA、愛好会Dance Free Styleがそれぞれ参加し、ステージ上でパフォーマンスを披露した。雄飛祭と同日11月5日(日)に開催されたドイツフェアでは、雄飛祭実行委員会が「獨協コンテスト」のPRを行い、愛好会カクタスがジャグリングのパフォーマンスを披露した。
420	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体(行政)			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
421	獨協大学	小中学校・高等学校への留学生派遣	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			小中学校・高等学校における国際理解の授業等で、外国人留学生の参加依頼があることから、学生の履修等に支障のない範囲で各校に派遣を行っている。授業等において母国や文化に関する紹介を行っており、平成24(2012)年が最初の事例となる。2023年度は小学校への訪問授業を実施した。
422	獨協大学	防災に関する連携事業	平成26年度	自治体(行政)			草加市と締結している「災害時における応急活動の協力に関する協定書」に基づき、前年度に続いて令和5(2023)年度も本学防災訓練(10月18日)の一部訓練を草加市危機管理課と協働で実施した。具体的には訓練参加者に実際の避難所イメージを掴んでもらうことを目的とした避難所設置訓練、草加市制作の風水害対策動画視聴の機会を設け、学生・教職員に対する防災意識の啓発に努めた。
423	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体(行政)			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を育む講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により平成27(2015)年度から開講された。草加市内の小中学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和5(2023)年度は7月、10月に獨協大学キャンパスで実施。
424	獨協大学	高齢者用施設での慰問演奏、演技披露、イベント協力		地域団体(NPO、ボランティア等)			2023年度は、近隣の高齢者福祉施設「幸楽園」にて、文化会マンドリンクラブが演奏公演を行った。
425	獨協大学	草加宿かがやき特別支援学校での公演、演武指導	平成30年度	草加かがやき特別支援学校			2023年度、学校内の体育館で文化会管弦楽部が演奏公演を行い、体育会合気道部は演武披露の後、児童に簡単な実技指導を実施した。
426	獨協大学	八潮ランタン祭りでの運営手伝い	令和5年度	八潮青年会議所			2023年9月23日、八潮市で開催されたランタン祭りでは、雄飛祭実行委員会がスタッフとして当日の運営に参加した。
427	獨協大学	PICNIGOODでの演奏、公演	令和5年度	PICNIGOOD実行委員会			松原団地記念公園にて定期的に開催される祭典PICNIGOOD(ピクニグッド)に、文化会古典ギター部、文化会JAZZ研究会が参加、演奏を披露した。
428	獨協大学	草加市役所議場クリスマスコンサート	令和5年度	草加市役所			2023年12月25日、草加市議会の年内最終開催日に、議場において文化会軽音楽部Swingin' Catsが演奏を披露した。
429	獨協大学	シルバーボロギング	令和5年度	草加市シルバー人材センター			2023年10月21日(土)、草加市シルバー人材センター会員によるキャンパス周辺のゴミ歩きウォーキング「シルバーボロギング」に、愛好会WAPを中心とする学生グループが参加した。
430	獨協大学	そうか産学行連携事業	平成16年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		獨協大学・草加市・草加商工会議所が地域産業の活性化、地域振興を図るための交流会や地域に根ざした産業振興支援事業を実施する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
431	獨協大学	SOKA ENGLISH CAMP	令和4年度、 令和5年度は 本学にて開催	自治体(行政)			「生きた英語」による体験活動を通じ、日本文化や習慣を再発見するとともにコミュニケーション能力や国際感覚を養う。子どもたちが新しい仲間と出会い、共に活動することで友情と信頼を深め、協力する態度や責任感を養う。体験活動を通じ、子どもたちの英語及び外国語活動、地域への興味関心を高める。本学での開催時はもちろん、他会場での開催の折も経済学部、外国語学部の学生がボランティア活動で大きな役割を果たしている。
432	獨協大学	草加市英語検定試験学習会	平成29年度	自治体(行政)			草加市教育委員会と獨協大学の教育支援連携協定に伴い、英語検定試験推進事業を図るため、獨協大学が協力して草加市内の公立中学校3年生の希望者を対象に英語検定試験の学習会を開催する。 コロナ禍により、令和2年度開催見合わせ、令和3年度獨協大学学生による動画配信による開催、令和4年度から通常の形態での開催
433	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進 等
434	日本医療科学大学	イオンモール浦和美園「～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」	令和4年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	産官学連携による健康とスポーツのイベントとして有資格者による本格的な測定会や専門の研究者による講演・体験イベント「うららかに広場 ～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」に出席した。
435	日本医療科学大学	子ども大学はとやま	令和4年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		鳩山町・東京電機大学並びに山村学園短期大学、日本医療科学大学が連携し、地域の大学の特色を生かした学習活動に子ども自身が学び、生きる力を身につける。
436	日本医療科学大学	子ども大学にいま	令和5年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		坂戸市・毛呂山町・越生町の教育委員会と連携し、子どもの学び力や生きる力をはぐくみ、地域で地域の小学生を対象として講座を実施。
437	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	産業界(企業等)			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
438	日本工業大学	情報ボランティア派遣制度	平成9年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		本学の情報メディア工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣してきた。平成9年度より毎年開催してきたが、令和4年度は宮代町社会福祉協議会の、また令和5年度からは杉戸町社会福祉協議会の依頼に基づき両町の高齢者のスマホ相談会に学生を派遣している。
439	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えると、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。平成19年度より毎年開催しており、令和5年度は8名の学生を中学校等に派遣した。
440	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県との協定による県内16大学共同実施の開放講座で、本学はこの講座のニックネームを「シニアチャレンジ講座」として公開している。1年に2回、春と秋に受講生を募集し、学部学生と机を並べ学習に参加するものである。令和5年度は15名が受講した。
441	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科教室	平成20年度	その他			応用物理学会・応用物理教育分科会と連携し、関東地区の埼玉会場として開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員で、身近なサイエンスの原理を楽しみながら体験的に理解すること、教育現場での指導の一助となることを目的としている。令和4年度は対面で実施し、理科工作および実験ショーを行い、児童28名・保護者一般37名の計65名が参加した。
442	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」(埼玉県青少年夢のかけはし事業を改名)	平成21年度	埼玉県			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当し、理科工作と実験の実演を行っている。令和5年度は12月9日(土)に実施し、小学生45名が参加した。
443	日本工業大学	高度金型人材育成事業 金型スクール講座	平成23年度	産業界(企業等)			本学では、平成20～22年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受け、金型設計者育成のための教育カリキュラムの開発を進めてきた。平成23年度より、本学に金型教育事業部を設け、金型設計者としての基盤的技術力を身につける金型基礎ユニット(U1)と金型実践ユニット(U2)を実施している。
444	日本工業大学	寄付講座	平成23年度	産業界(企業等)			川口信用金庫による寄付講座「創業の基礎」を例年、秋学期に開講している。全学年・全学科対象の自由科目となっている。受講生にとっては社会で活躍する企業家等の生の経験談を得ることができる貴重な機会となっている。
445	日本工業大学	子ども大学みやしろ	平成23年度	自治体(行政)			本学・宮代町・埼玉県等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和5年度は計3回、小学生40名が参加した。
446	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		埼玉県立大学(代表校)、埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画。地域住民の豊かな暮らしを支えるための多職種及び地域住民の連携力育成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々や地域を対象とした取組など、多様に展開している。
447	日本工業大学	彩特ICT/AT.Labo 研究大会	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			彩特ICT/AT.Labo(埼玉県内の特別支援学校や特別支援学級の教員が集まり成26年度に発足した任意研究会)と本学が連携し、ICTやAT(アシスタブテック/ロボット・支援機器・技術)を活用した特別支援教育の実践研究大会を年2回共同開催している。3年生のPBL演習科目、卒業論文や修士論文の研究テーマ策定や成果発表の場となっている。この連携の一環で越谷総合技術高校及び久喜工業高校と合同のPBL演習も実施している。
448	日本工業大学	子ども大学すぎと	平成28年度	自治体(行政)			本学・杉戸町・町内企業等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和5年度は計3回、小学生57名が参加した。
449	日本工業大学	東武鉄道沿線連携勉強会	平成29年度	自治体(行政)	民間企業		東武鉄道沿線における、官民ならびに地域間連携によるまちづくりに係るナレッジの融合の機会を創出することにより、地域課題の複合的な解決を図り、持続可能な地域社会を実現する。これまで6回の勉強会その他、視察や幹事会を実施している。その後は、主にfacebookを介した情報交換を行なっている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和5年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
450	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	自治体(行政)			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間40分5コマのプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミング的思考を学習した。平成30年度より毎年開催できているが、令和3年度については新型コロナウイルスの影響で中止となった。令和4年度は6年生のみ1クラス3コマずつ実施した。5年度は4、5年生は5コマずつ、6年生は4コマずつ実施した。
451	日本工業大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	東武東上線、西武池袋線及び西武新宿線の沿線地域を中心に所在する大学及び短期大学、自治体、事業者等が参画し、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を目指すプラットフォーム。本学は当該地域外ながら、連携教育の展開、および連携教育の方路検討において協力している。
452	日本工業大学	越谷市児童館での作品展示	令和元年度	自治体(行政)			本学学生が作成したインタラクティブアート(体を使って体験するアートやゲーム)の作品を、越谷市の児童館において定期的に展示している。平成元年度より継続しており、令和5年度も、8月と12月の2回(計4日間)のイベント展示を実施し、のべ400名近くの子どもたちや保護者の方に体験してもらった。
453	日本工業大学	宮代町児童クラブ 理科実験教室	令和2年度	自治体(行政)	民間企業		宮代町児童クラブ受託運営業者からの依頼で、宮代町の児童クラブで理科実験教室を実施。令和5年度は8月7日かしのき児童クラブ、8月8日ふじ児童クラブ、8月22日いちじょうの木児童クラブで実施した。
454	日本工業大学	認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展	令和3年度	自治体(行政)	民間企業	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	宮代町、宮代町社会福祉協議会、宮代町立図書館と連携し、認知症の方も住みやすいまちづくりをテーマとし事業を展開している。9/27～10/1に合同展「あしたのわたしと認知症」を行い、10/26には「認知症で共に暮らす映画会・講演会」を開催した。
455	日本工業大学	宮代町内におけるイベント等への学生ボランティアの参加	令和3年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		宮代町内のイベント等へ本学学生がボランティアとして参加。子どもたちと一緒に遊んだり、イベントの準備やサポートを行った。令和5年度は複数のイベントに参加した。
456	日本工業大学	トウブコの冬2023	令和4年度	自治体(行政)	民間企業		1月20日、「トウブコの冬2024」が無印良品東武動物公園駅前から進修館までの「トウブコエリア」において開催された。本学の地域連携センターと関連研究室、宮代町、無印良品東武動物公園駅前、東武鉄道等の協働で運営されており、昨年に続き2回目となる。今年は4つのプロジェクトの活動成果を核にした以下の企画が催された。 ○宮代町の水害予想マップをもとにした防災訓練を提案する「防災×観光ツアーお披露目」 ○古利根川流灯まつりで実際に使用される灯籠の木枠に飾る「セロファンで自由につくる灯籠ワークショップ」 ○子どもたちが制作したアニメーションを地面や壁面に投影する「おさんぽプロジェクション」 ○宮代町産の野菜を使ったスープなど温かい食べ物・飲み物が提供される「あたたかいもの屋台」 当日は小雨混じりの空模様であったが、近隣在住の子どもから大人まで多くの参加者で賑わった。
457	日本工業大学	かすかべSDGsフォーラム	令和4年度	春日部市市民活動センター(ほぼら春日部)			2024年3月16日に開催された春日部市主催の「かすかべSDGsフォーラム2024」で、春日部市民活動センター(ほぼら春日部)の出店企画「まちかどライブラリー」の紹介活動、事前の本棚制作を行った。当日は本の交換や読み聞かせ、菜づくりワークショップ等を実施した。「まちかどライブラリー」は、ほぼら春日部など地域活動を行う3つの施設に本棚を設置して本の交換を行う活動であり、設置する本棚の制作を地域の方々と共に本学の建築技術センターで行った。
458	日本工業大学	夏休みこども科学教室	令和4年度	自治体(行政)			幸手市中央公民館からの依頼で小学3,4年生対象の夏休みの科学教室を実施。「偏光まんげ鏡」の工作と光の実験、および、液体要素の実験ショーを行った。親子10組が参加。
459	日本工業大学	白岡市生涯学習センター「こもれびの森」との連携	令和4年度	自治体(行政)			本学LCCセンターの正面入口付近に白岡市生涯学習センターの資料を展示、白岡市生涯学習センターの図書館2階カウンターにも本学図書館の資料等を設置している。11月18日「こもれびの森まつり」にて、子供向け工作教室「光に集まるロボットを製作しよう!」(担当:ロボットボランティア工作班)と「バランスロボを作ろう!」(担当:物理教員と学生有志)を開催。
460	日本工業大学	春日部市児童クラブ 学童向けドローン体験教室	令和4年度	民間企業	自治体(行政)		春日部市の児童クラブにおいて学童向けのドローン体験教室を開催した。8月18日(八木崎・正善放課後児童クラブ)、23日(豊野・武皇南課後児童クラブ)。
461	日本工業大学	日工大サイエンスプロジェクト	令和4年度	自治体(行政)			小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、子どもたちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子どもを育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成することを目的とし、宮代町教育委員会と協力して実施している。R4年度から開始し、R5年度は宮代町内すべての中学校(3校、3月5日、6日)、および試験的に小学校1校を対象に(町立百間小学校、2月28日)実施した。応用化学科、電気電子通信工学科、物理学研究室の教員及び学生環境推進委員会の学生が担当した。
462	日本工業大学	杉戸町立内田第3放課後児童クラブにおける家具制作の協力	令和4年度	自治体(行政)			包括的連携協定を締結している杉戸町からの依頼で、役場と協働で児童クラブで使用する家具の制作を行った。
463	日本工業大学	宮代町のセレクト横丁「ROCCO」プロジェクトへの協力	令和4年度	民間企業			令和4年にオープンした6軒の平屋の空き家をリノベーションしてつくられた商業施設「ROCCO」において、オープン時に本学の建築学科が建物間の空間デザインやワークショップに協力したが、その後も補修や情報交換などが継続している。
464	日本工業大学	わわわ!トウブコ		自治体(行政)	民間企業		町の事業の関連イベント。東武動物公園駅西口広場から新しい村までを「誰もが居心地よく、歩いて楽しい賑わいのある公共空間」とすることを目指しており、本イベントは公共空間である「道路」の新たな使い方を検証するための社会実験を実施。木工サークルの学生が連なるベンチや打楽器のカホンなどを製作し設置。
465	日本工業大学	ロボット工作教室開催	平成25年	本学			「加須市少年少女発明クラブ」との連携企画で、カレッジマイスタープログラム科目「ロボットボランティア」の授業の一環として実施。8月2日に本学で開催し、児童18名が参加した。
466	日本工業大学	オンラインロボット工作教室	令和3年	本学			カレッジマイスタープログラム科目「ロボットボランティア」の授業の一環としてオンラインで実施。2月23日に本学で開催し、児童8名が参加した。杉戸及び宮代町内の教育機関にビラ配布のお願い。
467	日本工業大学	小・中学生向け職業探索シリーズ③ドローンを学び、操縦にもチャレンジ	令和5年度	自治体(行政)			春日部市内牧南公民館からの依頼で、小・中学生向け職業体験イベントを9/30に実施。当日は19組38名の親子が参加し、ドローンについて学び、体験した。
468	日本工業大学	みやじろ保育園の靴箱製作	令和5年度	自治体(行政)			宮代町より依頼があり、木工サークルの学生および教員が製作。園児と一緒に靴箱の色塗り等も実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
469	日本工業大学	春日部市官民連携地域活力パワーアップ応援助成金	令和5年度	自治体(行政)			春日部市が、包括的連携協定を締結している団体、又はかすかべSDGsパートナーズ会員が連携を行う取組に対して助成金を交付する。令和5年度は「史跡神明貝塚におけるメディアテクノロジーを活用した可変的な展示解説手法の開発研究」を実施。
470	日本工業大学	ユニバーサル野球の遠隔操作システム開発	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			宮代特別支援学校において開催されたユニバーサル野球の学校授業で、本学が開発した遠隔操作システムが活用された。
471	日本工業大学	『『ニュー咲きほこれ埼玉』みんなで踊ろう！埼玉愛を届けよう』動画制作協力	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県庁広報課と杉森研究室がコラボし、『ニュー咲きほこれ埼玉』みんなで踊ろう！埼玉愛を届けよう』プロジェクトを行った。一般から、映画『翔んで埼玉〜琵琶湖より愛をこめて〜』の主題歌に合わせて踊る動画を募集し、ミュージックビデオ制作を実施。
472	日本工業大学	みやしろイルミネーション参加・協力	令和5年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		ポスター作成、チラシ作成、看板制作で参加・協力。
473	日本工業大学	食育支援アプリ開発	令和5年度	自治体(行政)			宮代町教育委員会からの依頼により食育支援アプリを共同開発した。2024年2月26日にはアプリを用いた研究授業を実施した。
474	日本工業大学	春日部市市民センターでの移動式ワークショップセット制作	令和5年度	春日部市市民活動センター(ほぼら春日部)			ワークショップなどの地域活動を実施する際に用いるテーブル、ベンチ、屋台などを移動式ワークショップセットとして制作した。制作したワークショップセットは、2024年3月24日、春日部駅東口の古利根公園橋周辺でのイベント「桜咲くマルシェ」、2024年4月21日、春日部駅西口の藤通りでのイベント「藤テラス」の際に設置して地域の方の休憩スペースや受付窓口として使った。春日部駅東口で2月2日開催予定の「かすかべ夜市」で活用することも予定しており、今後も利用状況などを調査しながら継続的に利用していく。
475	日本工業大学	蓮田特別支援学校への障碍(がい)児童向けアイテム提案	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			蓮田特別支援学校と連携し障碍(がい)児童向けのアイテム提案を行い、関連器具の提供を行った
476	日本工業大学	コミュニティ・スクール活動の支援	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			駒西特別支援学校、宮代特別支援学校、越谷総合技術高校等、県内のコミュニティ・スクール活動を支援協力するために運営委員会等の会議に出席
477	日本工業大学	MIYASHIROエコスタース主催の第12回 ふるさとキレイ大会in宮代	令和5年度	地域団体			宮代町の小・中学生を中心に構成するエコスタース主催の「ふるさとキレイ大会in宮代」に本学の学生環境推進委員会メンバーがスタッフとして参加した。当日は、宮代町町長を含む13のグループが参加し、町内美化活動を行った。
478	日本工業大学	ドローンの役割を学び、操縦体験を行う	令和5年度	自治体(行政)	本学		春日部市教育委員会の小・中学生向け職業体験イベント「ドローンの未来を学び、操縦にもチャレンジ」を9/30(土)本学で開催。当日は小学4年生から中学2年生までの19組38名の親子がドローンについて学び体験した。
479	日本工業大学	雷シタケと宮代町	令和5年度	自治体(行政)	本学		宮代町立図書館において9/10(日)14:00～15:30特別講演会「雷シタケと宮代町」を開催した。
480	日本工業大学	農泊奈味プロジェクト	令和4年度	民間企業			農家の空き家を活用した農家民泊開業に向けた改修工事や体験プログラムの検討に協力した。
481	日本工業大学	宮代町小学校教員理科研修	令和4年度	自治体(行政)			宮代町教育委員会との連携により、小学校の教員向けに理科実験の研修を実施。特に理科専攻でない教員や新任～3年程度の教員に、準備や失敗も含めて実体験してもらう狙い。昨年度施行実施し、継続した。令和5年度は8月24日に行い、14名の教員が参加した。
482	日本工業大学	蓮田市学童保育所 理科実験教室	令和5年度	自治体(行政)	民間企業		蓮田市児童クラブ受託運営業者からの依頼で、蓮田市の児童クラブで理科実験教室を実施。令和5年度は12月27日ねがやど学童保育所、12月28日蓮田南学童保育所で実施した。
483	日本赤十字看護大学	公開講座	令和4年度	団体(自治会)	団体(認可法人)		本学の完成年度記念講座として、昨年度から始めた地域の住民の方を対象とした公開講座を実施。本学の強みとしての災害をテーマに、埼玉県にゆかりのある方と、日本赤十字社埼玉支部にご協力いただいた。 【日程】2024.2.26 【テーマ】災害に備える～暮らしの中の防災対策 講師：①菅久瑛麻氏(元テレビ埼玉アナウンサー・防災士)②日本赤十字社埼玉支部 【対象】埼玉県内在住・在さい・在学者70名
484	日本赤十字看護大学	大学コンソーシアムさいたまリレー講座	令和4年度	団体(自治会)			コンソーシアム全体のリレー講座のテーマ「心と体の健康」を踏まえ、さいたま看護学部でのテーマを小学生向けに人体をテーマに講義と、聴診器で心拍を測定するなどの体験を行った。 【日程】2024.8.26実施 【テーマ】キッズカレッジ(小学生対象) 講師：本学教員 【対象】小学生とその保護者24組
485	日本赤十字看護大学	UR都市機構との共催事業	令和4年度	企業			UR都市機構から健康づくりへの協力依頼があり、セミナーを実施 コンフォール南浦和団地の住民対象に同団地集会所にて行った。 講座の内容は保護者向けなので、その間に子どもは本学の学生がうらわえ作などのプログラムを組んで実施した。 【日程】2023.8.10 【テーマ】この夏をつけた子どもの健康・事故予防講座 講師：本学教員 【対象】16名(お子様とその保護者)
486	日本赤十字看護大学	埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)	令和3年度	団体			埼玉県内大学・短期大学図書館(分館・分室を含む)等間の相互協力を通じて、相互の改善向上を図ることを目的とし、下記の事業を行っている。 ・図書館等間の相互協力の推進 ・図書館活動に関する調査・研究 ・研修会の開催 ・会報等の発行
487	日本薬科大学	薬物乱用防止講演教室	平成22年	高等学校			埼玉県(保健医療部薬務課、教育委員会)、埼玉県薬剤師会との連携を図り、健康や薬について、関東1都6県の高等学校が取り組んでいる生徒向けの「薬物乱用防止の研修会」に講師派遣などを行っている。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も取り、講師派遣で5校、オンライン配信で5校の計10校の講演教室を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
488	日本薬科大学	理科教員のための実践教養講座	平成23年	高等学校			高大連携事業の一つとして、高等学校の理科教育の質的充実を目的とし、埼玉県(教育委員会)の後援を得て、関東1都6県の高等学校の理科教員を対象として研究実習棟の実習室を使用して開催している。令和5年度は、14名の参加者で「走査型電子顕微鏡による生物表面形態の観察」を開催した。
489	日本薬科大学	高校生のための一日薬剤師体験教室	平成23年	高等学校			埼玉県(保健医療部薬務課)と共催し、県内在住及び県内高等学校に通学する高校生を対象として研究実習棟4階の実習室、模擬薬局を使用して開催している。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も収まり、通常の60名を募集したところ65名の参加を認め、当日欠席5名が出たため、60名の参加者で開催した。
490	日本薬科大学	子ども大学 あげお・いな・おけかわ	平成23年	自治体(行政)			上尾市、伊奈町、桶川市が共同で開講する子ども大学に聖学院大学と共に講義、実習をそれぞれの施設を使用して開催している。令和5年度は、新型コロナウイルス対策の影響も収まり、58名の参加者で「光と色の不思議」と「目指せ！科学捜査官―遺伝子鑑定編―」を開催した。
491	日本薬科大学	伊奈町学校開放講座	平成26年	自治体(行政)			令和5年度は、「薬局の賢い使い方」、「東洋医学に基づく元気になる利用の摂り方」の2講座を開催し、延べ55名の参加者を得た。
492	日本薬科大学	埼玉未来大学 (旧いきがい大学)	平成26年	自治体(行政)			前期は、「未病と健康」の講座を熊谷、川越、川口、春日部、伊奈の5個学園に講師を派遣し、後期は、「アロマ」の効能と睡眠について」の講座1回に講師を派遣した。
493	日本薬科大学	公民館講座	平成28年	自治体(行政)			9月29日「はじめてのアロマセラピー」上尾市 10月31日「賢い薬局の利用方法」戸田市 12月7日「薬の効果と副作用」上尾市 12月14日「薬の効果と副作用」上尾市 12月19日「知って得する健康寿命の話」鴻巣市 2月2日「漢方講座～漢方の歴史・概要・治療一般」蓮田市
494	日本薬科大学	健康講座	平成28年	自治体(行政)			8月29日「アナフィラキシーとその対応」北本市 12月20日「健康寿命の延伸と軽微な運動」蓮田市 3月2日「はじめての漢方薬学・薬膳講座」川口市
495	日本薬科大学	市民大学	平成28年	自治体(行政)			8月8日「COVID-19と私たち」鴻巣市 11月20日「認知症って予防できるの？」北本市 2月29日「お風呂教授が教える究極の入浴術」北本市
496	日本薬科大学	大学授業開放講座	平成28年	自治体(行政)			埼玉県知事と本学学長とが協定書を交わし、埼玉県福祉部長と本学学部長とが覚書を交わしたことに基づき実施している。令和5年度は、対面での授業を基本とし、前期は4講座を延べ14名が受講、後期は4講座を延べ16名が受講した。
497	日本薬科大学	連携高等学校の生徒に対する実習・講義	令和元年	高等学校			高校生遺伝子解析実習: 8月1日(34名)、4日(39名)、5日(23名) 高校生医薬品合成実習: 1月21日(46名)、27日(27名) 探究学習支援 成女高校: 11～2月(8回)(4名) 順天高校: 9～2月(14回)(21名) 成立学園中学・高校: 7～1月(5回)(80名) 国立音楽大学附属高校: 4～3月(10回)(15名) カリタス女子中学高校: 4～1月(6回)(14名) 出張実習・講義 大宮東高校: 6月(1回)(20名) 浦和高校: 6月(1回)(98名) 武蔵越生高校: 7月(1回)(5名) 常盤高校: 8月(2回)(14名) 和歌山北高校: 9月(2回)(100名) 大東文化大第一高校: 9月(1回)(6名) 常盤高校: 12月(1回)(72名) 大宮東高校: 3月(1回)(600名)
498	人間総合科学大学	蓮田市地域福祉計画策定委員会	令和5年度	自治体(行政)			地域福祉計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
499	人間総合科学大学	蓮田市総合振興計画審議会	令和5年度	自治体(行政)			総合振興計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
500	人間総合科学大学	蓮田市都市計画審議会	令和5年度	自治体(行政)			年計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
501	人間総合科学大学	防災倉庫備品等説明会	令和5年度	自治体(行政)			蓮田市危機管理課により、教職員向け防災倉庫の備品の使い方等についての説明会を実施
502	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和5年度	自治体(行政)			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。 さいたま市の4～6年生が対象で、「赤ちゃんの成長を知らう・お世話してみよう」をテーマとして、看護学科の教員3名が講師を担当した。
503	人間総合科学大学	いきいき街づくり委員会	令和5年度	産業界(企業等)			蓮田市商工会の委員として教員を派遣、梨を使った特産品の開発を行っている。
504	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和5年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		本学では6年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度も3店舗でテイクアウトメニューを販売した。
505	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
506	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和5年度	自治体(行政)			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チームEat All」事業に参加している。
507	人間総合科学大学	岩槻タウンカフェ	令和5年度	自治体(行政)			岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域の自主的かつ主体的に実践できるようなアイデアを出し合う意見交換の場として開催。「岩槻区の特色と課題」をテーマに、学生4名・教員2名が参加した。
508	人間総合科学大学	第12回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和5年度	自治体(行政)			6大学10グループの学生が「誰一人取り残さない持続可能な地域社会」をテーマに政策を提案。本学からは1チームが参加「こども食堂を活用した食生活改善プロジェクト」で最優秀賞を受賞した。
509	人間総合科学大学	第21回 ～人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり～	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		360体を超える大迫力のひな人形の階段飾りを始め、健康イベント・ハンドメイド・音楽フェス・占い・特別コラボなどのイベントを開催した。
510	人間総合科学大学	うたやの森フェスティバル	令和5年度	産業界(企業等)			うたやの森フェスティバル実行委員と蓮田市商工会青年部が主催のイベントに、学生6名教員4名がボランティアで参加した。
511	人間総合科学大学	シニア健康講座	令和5年度	自治体(行政)			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「健康食と料理について」をテーマに講義を行った。
512	人間総合科学大学	子ども講座	令和5年度	自治体(行政)			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「たべものと栄養のふしぎ」をテーマに講義を行った。
513	人間総合科学大学	さいたまマラソン	令和5年度	自治体(行政)			さいたまマラソンの給水ボランティアに教職員・学生含めて51名が参加。
514	人間総合科学大学	上尾シティハーフマラソン	令和5年度	自治体(行政)			上尾シティハーフマラソンのボランティアに教員・学生11名が参加。
515	人間総合科学大学	出張講義	令和5年度	自治体(行政)			上尾市公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「触れる刺激で体調を整える」をテーマに講義を行った。
516	人間総合科学大学	出張講義	令和5年度	自治体(行政)			さいたま市保健所主催の講座に教員を講師として派遣し、「食生活改善推進員一人一人がいきいきと活動するために」をテーマに講義を行った。
517	人間総合科学大学	出張講義	令和5年度	自治体(行政)			三鷹市健康福祉部主催の講座に教員を講師として派遣し、「心身の健康とストレスについて」をテーマに講義を行った。
518	人間総合科学大学	学校運営協議会	令和5年度	特別支援学校			岩槻はるかぜ特別支援学校の学校運営協議会委員とし教員を派遣
519	人間総合科学大学	humanfestival	令和5年度	自治体(行政)			本学のhumanfestival(学園祭)を蓮田市と共催で行った。
520	文教大学	文教大学あいのみ文庫	昭和57年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			文教大学越谷図書館の児童室施設・資料を地域の子どもたちに提供する児童文庫活動。設置当初は図書館の業務の一部だったが昭和62年より運営をボランティアに委託している。 平成18年文部科学大臣賞受賞。
521	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 令和5年7月22日(土)「煮干しの解剖・タネと発芽 - 生物の標本づくり」 NPO埼玉のしい科学ネットワーク講師
522	文教大学	文教大学あいのみ文庫連続講座	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		文教大学あいのみ文庫の活動として、文庫スタッフおよび有識者等による連続講座を開催している。関心をもつ親のほか、学校図書等も参加している。 ・乳幼児を持つ親のための講座「わくわく絵本教室」 ・図書ボランティアのための講座「本物の読み手を育てるために」
523	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体(行政)			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 令和5年10月4日(水)『源氏物語』本文の深奥～紫式部の御冊子作り～ 令和5年10月18日(水)『源氏物語』の物語空間～嵯峨野の風景～ いずれも 教育学部専任講師 菅原 郁子
524	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短大(大学・短大間連携)	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 令和5年10月14日(土)「ことばで優しくコミュニケーション」文学部 森田香緒里 令和5年11月11日(土)「ペーパーエンジニアリング POP-UPカードをつくろう!!」教育学部教授 久保村里正
525	文教大学	シニアアカデミー	平成28年度	自治体(行政)			埼玉県のリカレント事業に賛同し、県福祉部との協定に基づき実施。県内在住の55歳以上の方を対象に、学部授業の一部を開放している。 令和5年度開放科目:「Gender Studies」「Special Topics in Area Studies」「国際理解教育」「ヨーロッパ文化研究 I」「物理学」「ボランティア論N」「生きがい論」「文学」「演劇論 I」
526	文教大学	越谷市 学生ボランティア制度	平成29年度	自治体(行政)			本学で教職を目指して学んでいる学生が学校応援団の一員として越谷市内の小・中学校における教育活動をサポートする。
527	文教大学	さいたま市教師塾「夢」講座	平成30年度	自治体(行政)			さいたま市教員等資質向上指標(キャリアnavi)【教諭・主幹教諭】に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感に燃えるさいたま市の教員を養成するために実施する。
528	文教大学	三郷市 学生ボランティア制度	令和2年度	自治体(行政)			本学で教職を目指し学んでいる学生が学校応援団の一員として三郷市内の小・中学校における教育活動を 補助するための制度。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和5年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
529	文教大学	「高校生「学び」夢”プラン」の受入れ	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会との連携により、県内高校で学ぶ生徒の進路選択の参考、職業や生き方を考える機会として埼玉県民の日に実施。通常授業に高校生・高校教員を受け入れる。 令和5年度対象授業：「生活環境論」「教職概論」「Problem-solving Workshop」「遊びと人間」「日本近代文学史講読」「翻訳入門」「英語パフォーマンス」/模擬授業：「新たななるリダシップと会計学思考のススメ」「情報社会の社会心理学」「生活習慣病を予防するための最先端栄養学」
530	文教大学	彩の国 かがやき教師塾	令和4年度	自治体(行政)			大学生の早い段階から、学校現場で体験を積むことによって、教職に対する学生の意欲を高めるとともに、将来の埼玉教育の中核的な立場として活躍できる教員の基礎となる資質を育成することを目的としたもの。
531	文教大学	さいたま市 アシスタントティーチャー	不明	自治体(行政)			教員を志している大学生による学習支援ボランティア(アシスタントティーチャー)は、児童生徒のきめ細かな学習支援の実現と、参加する大学生の教員となるための意欲や資質を高めることを目的としたもの。
532	文教大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		大学の教育資源を活用した講義や地元を学ぶ講義を実施することで、普段の学校生活とは一味違った特別な体験学習を通し、子どもたちの学ぶ力や生きる力を豊かに育むことを目的としたもの。 令和5年8月25日(金)「お店の販売員になってみよう！」 国際学部准教授 榎村聡子
533	文京学院大学	公開講座ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体(行政)			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和5年度は、10月21日(土)に実施した。
534	文京学院大学	市民大学ふじみ野	平成14年度	自治体(行政)			平成14年の「町民カレッジ」を初期として、以来ふじみ野市との連携で、「市民大学ふじみ野」と名称を変え、ふじみ野市を中心に市民に対する公開講座を開講して来た。令和5年度は、9月7日(木)、9月8日(金)に実施予定だったが、9月8日(金)は台風接近のため中止し9月7日(木)のみの実施だった。
535	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催公開講座	平成14年度	自治体(行政)	淑徳大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和5年度はオンライン講座として実施。「心と身体(からだ) ハッピーエイジング」をテーマに9/30(土)淑徳大学で公開講座を行った。
536	文京学院大学	彩の国大学コンソーシアム	平成14年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県内にある13の大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展を図るとともに、生涯学習や地域貢献を目的として公開講座を開講していたが、令和5年3月末でコンソーシアムを退会した。
537	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		ふじみ野キャンパス地域連携センターBIGSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和5年度は対面活動も少しずつ再開をして、学生が主体的に関われる非対面での活動に取り組んだ。
538	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数講座のうち、希望する講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和5年度より再開。
539	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成25年度	自治体(行政)			子ども大学ふじみ野は「まなびでつながりひろがる 人と地域を育むまち ふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子ども的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和5年度は、「つくる」をテーマに対面形式で実施した。
540	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和5年度も「公務キャリア特講(2年後期)」の授業において、市役所の全部署のご担当者様から対面により講義を実施した。
541	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体(行政)			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和5年度は、2月10日(土)、11日(日)でふじみ野市の施設にて対面で実施した。
542	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加、双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和5年度、対面にて再開し、保健医療技術学部も含めた2学部にてオムニバス形式での体験授業を実施。
543	文京学院大学	文京学院大学と富士見高等学校との教育連携に関する協定書	令和5年度	埼玉県立富士見高等学校			高大連携公開授業「オープンカレッジ」を実施。1～2年生が5月～10月にかけて各学科の授業を受講し、11月には生徒が取り組む探究活動の研究発表会を行った。
544	文京学院大学	文京学院大学と中京学院大学との相互交流に関する協定・覚書	平成29年度	中京学院大学			学生交流として、両大学の学内行事、課外活動、地域社会との連携活動、サークル活動等を通して学生の教育や諸活動を支援し、学生間交流の活性化を目指す。教員交流として、両大学での要請に応じて共同研究の実施、学生教育の改善に資する意見交換や研修等を通して幅広い交流を図る。 事務職員交流として、事務職員の資質向上、学生支援の改善に資するため、相互訪問や相手大学の研修会への参加、行事への参加等を通じて幅広い交流を図る。令和5年度は、オンラインの企画参加を再開できた。
545	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体(商店会)	自治体(行政)		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どものための交流を図る駄菓子屋を運営している。令和5年度は、3月20日(祝)にまちフェス開催。
546	文京学院大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	令和元年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		自治体及び企業・団体と連携して、当該地域の少子高齢化問題の解決及び地域活性化の推進に向けた「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくり」及び「地域産業の活性化」等の活動を柱として当該地域社会の継続的な発展に寄与することを目的として協定を締結した。令和5年度は、オンライン対面など様々な形態で実施。令和5年度は、9月30日(土)には対面・オンライン公開講座を本学とふじみ野市立介護予防センターより配信した。10月28日(土)には、東松山グリーンワークを実施、学生・教職員が参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
547	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界(地元企業)			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和5年の夏季に、学生企業見学会を実施。県内では2社が受入れ。
548	文京学院大学	インターンシップ	令和元年度	自治体(行政)			大学の所在地であるふじみ野市にてインターンシップの受け入れを依頼。令和5年の夏休みに、心理学科の3年生がふじみ野市役所で、一週間のインターンシップ(実就業体験)に参加。
549	文京学院大学	リカレント科目開講	平成27年度	自治体(行政)			埼玉県高齢部福祉課からの依頼で、参画がスタート。県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える23大学が協力し、授業科目の一部を開放している。令和5年度は、コロナ後すぐということもあり、実施は見送り。令和6年度から科目開講を再開。
550	文京学院大学	ふじみ野市議会と文京学院大学との連携に関する協定	令和3年度	ふじみ野市議会			相互の連携の下、人材交流を図る基盤を整備し、地域貢献及び社会貢献を担う人材の育成に寄与することを目的とする。この協定に基づき、人材の交流及び育成、大学図書館と議会図書室との連携や市議会の政策形成に関する事項について、連携強化を推進するため、協定の締結を行う。コロナで中止していたが、令和5年度より再開。
551	平成国際大学	加須市シニアいきいき大学	平成23年度	自治体(行政)			高齢者の主体的な学習参加や学習活動を促進し、高齢者の力を社会に活かしていくため、加須市内在住の60歳以上を対象に「社会科学部」、「自然科学部」で専門的な講義を行っている。
552	平成国際大学	子ども大学かぞ	平成24年度	自治体(行政)			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、加須市教育委員会、加須青年会議所、加須げんきプラザ、加須子育て支援課と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
553	平成国際大学	加須市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	加須市消防団「大学生機能別団員」に平成国際大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時(消防団PR活動や大規模災害を想定した訓練など)及び大規模災害時(避難場所運営、物資の仕分け、避難誘導など)の活動に協力する。
554	平成国際大学	大宮東高等学校と平成国際大学との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、スポーツ科学的なサポート通じた高校生の競技力向上、インターンシップ実習(就業体験)の受け入れなどを行っている。
555	平成国際大学	子ども大学くき	平成30年度	自治体(行政)			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、久喜市教育委員会、久喜青年会議所と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
556	平成国際大学	加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会	令和元年度	自治体(行政)			コロナ禍により中断されていたが、加須市議会全議員25名および法学部3～4年生の学生36名が出席し、加須市の現状と未来について協議が行われた。
557	平成国際大学	3市(行田市、加須市及び羽生市)1商工会議所(行田)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学)の連携協力	令和2年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	3市、1商工会議所、3商工会、3大学は、3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力促進のため、協定を締結した。 R5年度、 7月10日、3月1日: 彩北未来プロジェクト会議 10月21日、22日: 大学祭における彩北未来プロジェクト広報活動 2月16日: 三大学合同研究発表会
558	平成国際大学	移動スーパーの実施	令和5年度	自治体(行政)			買物に困難を感じている高齢者等の利便性の向上を図るため、ウエルシア薬局(株)による週1回の移動スーパーによる商品の巡回販売を実施している。
559	平成国際大学	「角田守良市長と加須市の未来を考える」	令和5年度	自治体(行政)			学生約100名がグループごとに行政における現状の問題点を踏まえ改革案を角田市長にプレゼンを行った。
560	平成国際大学	子ども美術展覧会 in KAZO	令和5年度	自治体(行政)			令和5年度より設置された平成国際大学附属サトエ美術館において、加須市立の全小・中学校(30校)が参加し、全児童・生徒(約8,000人)が対象となる絵画コンクールを開催し、各校代表の作品180点が美術館所蔵作品と共に展示を行なった。
561	平成国際大学	令和5年度埼玉県・加須市国民保護実動訓練	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県知事、加須市長をはじめ、消防、警察、自衛隊、病院関係者など約500名が訓練に本学学生18名が参加した。
562	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体(行政)			文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的(協定内容)として昭和55年度(1980)に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度(令和4年度)で43回目を迎えた(令和元年度は台風の影響で中止、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止)。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月中旬から下旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定している。令和5年度は10月7日に武蔵野音楽大学パッサールで開催し、多数の市民がオーケストラの演奏を鑑賞し好評を博した。
563	武蔵野音楽大学	入間市立藤沢中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月にしない近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「パッサール」を提供している。毎年、主催者の要望に応え、本学より演奏者をゲスト出演させているが、令和5年度は音楽学部4年次生によるバイオリンの演奏と解説を行った。
564	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体(行政)			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」を目的で、「子ども音楽大学いるま」を打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生(4年生～6年生)30名を対象に9月～10月の間に3日間実施している。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となったが、令和4年度は作曲、バイオリン、楽器ミュージアム主催の講座を開催した。
565	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート「武蔵野音楽大学の手たち」	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学大学院の学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
566	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体(行政)			地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和5年度は、全2回の講座を開講した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
567	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 令和5年度は7校と学校間連携協定書を締結しており、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校:埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、埼玉県立富士見高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校
568	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、令和5年度は全3回開講した。ものごとの原理やしぐみを目指す「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
569	武蔵野学院大学	インターンシップ	平成28年	自治体(行政)	産業界(企業等)		正規授業である「インターンシップ」の授業を産学官連携によるPBL(Project-Based Learning)型で実施している。狭山市の企業が抱える課題を学生がグループで解決する中で学びを深めるという授業内容で、学生の学び(教育的価値)だけでなく、企業の課題解決(経済的価値)と狭山市の課題解決(社会的価値)を同時に実現することを目指している。 市職員の方々には、事業所の紹介や学生への講和等でご協力いただいております、産学官三位一体のプロジェクトとして推進している。
570	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体(行政)			地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和5年度は、全2回の講座を開講した。
571	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 令和5年度は7校と学校間連携協定書を締結し、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校:埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校
572	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、令和5年度は全3回開講した。ものごとの原理やしぐみを目指す「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
573	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
574	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医、SALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)加盟の学生及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
575	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都圏で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
576	明海大学	子ども大学に在るま	平成24年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども(4〜6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみを目指す「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
577	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び女子栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時(火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など)及び大規模災害時(避難所等での支援活動など)の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
578	目白大学	車いすテニスプレーヤー支援 ＜埼玉県車いすテニス協会との連携＞	平成29年4月	埼玉県車いすテニス協会			本学での定期的な練習のサポートや大会の支援や交流イベントの開催を行う。 協会メンバーの授業協力、協会主催の川越水上公園車いす大会への参加と協力も行っている。
579	目白大学	区内就労支援事業所との連携 (パン・焼き菓子販売)	令和2年4月	医療法人社団 春志会 就労継続支援施設B型 千乃詩			月2回程度、本学にて学生と就労支援事業所の利用者・職員でパン・焼き菓子の販売を行う。
580	目白大学	岩槻区地域支え合い推進員連絡会との連携	令和3年4月	岩槻区地域支え合い推進員連絡会			岩槻区内の3つの地域包括支援センター(松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻)の高齢者生活支援コーディネーターと岩槻区高齢介護課とで行う月に1回の会議に本学教員が参加し、岩槻区内における介護予防を目的とした通いの場や自主グループの創設・継続支援について情報共有することを目的とする。また、本連絡会に関する事業に学生ボランティアを派遣する。
581	目白大学	“ジェンダー平等”今、できること。 一仲間と語ろう、仲間と考えよう 目白大学×With Youさいたま(共催)	令和5年4月	With Youさいたま			埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたまとの共催事業である。 ジェンダー平等に関する認識向上を目指し、With Youさいたま事業担当の方のご指導を受け、本学の学生を対象にした3つのショート動画(①アンコンジャス/バイアスについて、②LGBTQ+について、③デートDVについて)を作成した。また、R6年2月With Youさいたまフェスティバルにおいて、本活動の発表、さらに国立女性教育会館研究員の先生を講師に招き、講演会の企画・開催を実施した。
582	目白大学	元気アッププロジェクト	令和5年4月	医療法人社団 幸正会岩槻南病院・岩槻南循環器クリニック	和土住宅自治会	和土小学校	地域で暮らす高齢者のヘルスプロモーション活動や和土小学校の活動をサポートする。 おもな活動は以下↓↓↓ ・岩槻南循環器クリニックの患者さんとお散歩 ・世代間交流の支援 ・健康に関する座談会 ・和土小学校チャレンジスクール支援

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
583	目白大学	埼玉県障害者アーチェリー協会との連携による障害者アーチャー支援	令和3年4月	埼玉県障害者アーチェリー協会			障がい者アーチェリー大会運営支援と出場選手の競技サポートする。
584	目白大学	柏崎小学校チャレンジスクール支援	平成28年4月	柏崎小学校/さいたま市			さいたま市柏崎小学校のチャレンジスクールの子供の安全確保と活動を支援する。
585	目白大学	柏崎地区社会福祉協議会の活動支援	平成28年4月	柏崎地区社会福祉協議会			柏崎地区社会福祉協議会が主催するサロン活動、夏祭り、敬老会の運営をサポートする。
586	目白大学	岩槻区地域包括支援センター連絡会との連携	令和3年4月	岩槻区地域包括支援センター連絡会			年度に3回開催される岩槻区地域包括支援センター連絡会に参加する。岩槻区内の3つの地域包括支援センター(松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻)の通いの場や介護予防事業の方針や進捗状況について協議し、連携を図る。
587	目白大学	さいたま商工会議所&目白大学 医療機器等開発マッチング(=SMAP事業)	令和2年4月	さいたま商工会議所			2019年度に実施したマッチング相談会に代わり、さいたま商工会議所に目白大学医療機器等開発マッチングについてのリーフレット作成を依頼し、教授会での配付を行う。
588	目白大学	岩槻区内作業所との協力	令和6年2月	就労継続支援B型事業ふくふく	東町作業所岩槻消防署 笹久保出張所	岩槻区障害者生活支援センター	目白大学のグラウンドを利用し防災訓練(水消火器・煙体験)を実施し、知的障害者や精神障害者が災害時における行動について学ぶ。また、支援者が日常のような声掛けをしているかや利用者との接し方を学ぶため、学生は訓練の補助に入る。
589	目白大学	革細工を通じた障害児・者施設との交流	令和4年6月	一般社団法人とまりぎ			とまりぎが運営する障害者グループホームの入居者、放課後デイサービスに通所されている児童を対象に、余暇活動としての革細工教室をボランティア学生とともに年6回程度開催
590	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体(行政)	その他		<p>大学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。</p> <p>行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。</p> <p>市民特別公開講座:2023年9月16日(土)「世界を変えたモノに学ぶ カップ・マルタンの休暇小屋」(講師:赤松明氏、藤原成徳氏、八代克彦氏)をものづくり大学で開催</p> <p>特別公開講座:2024年3月21日(木)「プロの写真家から学ぶ、美しい『星景』、美しい『時空』の写し方」(講師:成澤広幸氏)を大宮で開催</p>
591	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	企業	授業製作物である東屋やベンチ、遊具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。
592	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	<p>自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ</p> <p>・行田市立北小学校(2023年6月5日)</p> <p>・鴻巣市立下忍小学校(2023年10月19日)</p>
593	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>高校生の大学見学の受け入れを実施。</p> <p>6月 埼玉県立上尾橋高等学校(22名)</p> <p>埼玉県立楠川西高等学校(6名)</p> <p>埼玉県立上尾鷹の台高等学校PTA(13名)</p> <p>9月 埼玉県立栗橋北彩高等学校(31名)</p> <p>11月 埼玉県立岩槻商業高等学校(32名)</p>
594	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)	<p>ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人力を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をやる意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは大学の特色の一つとなっている。</p> <p>2023年度は、270名の学生が就業体験の機会をいただき、受入企業総数200社のうち県内企業110社においてインターンシップを行った。</p>
595	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		<p>行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣</p> <p>5月25日(木):クルマと社会の過去と未来を覗く</p> <p>6月7日(水):郷土の歴史「忍に残る歴史遺産」</p> <p>6月15日(木):まちづくり-2~地域を知ってアイデアを出そう</p> <p>10月12日(木):元気の出る街づくり-1</p> <p>11月16日(木):見て感じて理解する日本の建築-美術館、博物館をめぐって-</p>
596	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		<p>大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども(小学校4~6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。</p> <p>7月8日(土)入学式、「人協働型ロボットを動かしてジエンガを積み上げよう」</p> <p>7月15日(土)「チェンジ・フォー・ザ・ブルー」ゲームで学ぶ海ごみや汚れ問題」</p> <p>7月29日(土)「昔話を聞こう~語り部の会による弾き語り~」、「行田の自然について」</p> <p>8月26日(土)「守ろう行田の自然」、「未来の行田」</p> <p>9月9日(土)「イルミネーションをプログラムしよう」、卒業式</p>
597	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。
598	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受け入れなどを行っている。
599	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施
600	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)			3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。2024年2月16日(金)三大学合同研究発表会および高大連携交流会(場所:平成国際大学)

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
601	ものつくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
602	ものつくり大学	3市(行田市、加須市及び羽生市)1商工会議所(行田)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものつくり大学)の連携協力	令和2年	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力を促進することを目的とし、協定を締結した。 7月10日(月)2023年度第1回彩北未来プロジェクト会議 8月27日(木)子ども大学がそへの講師派遣 10月28日(土)、29日(日)学園祭に彩北未来プロジェクトのパネル展示 3月1日(金)2023年度第2回彩北未来プロジェクト会議
603	ものつくり大学	鴻巣市内公共施設の施設用品の製作・修繕	令和3年度	自治体(行政)			鴻巣市の公共・教育施設等から依頼を受け、卒業制作の一環として、テーブルや収納箱などの木製什器24点を小学校や児童施設に寄贈した。
604	ものつくり大学	鴻巣市「旧中山道商店街活性化プロジェクト」への協力	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		鴻巣市総合政策課および鴻巣市商工観光課と共同で取り組んでいる。 令和5年度は以下の取組を実施した。 ・商店街の空き店舗活用を目指した起業・副業支援の取り組み施策の構想 ・「そらはなマルシェ」の運営、来訪者・出店者の分析
605	ものつくり大学	長瀬町の観光に関する調査	平成30年度	自治体(行政)			埼玉県の助成を受け、長瀬町産業観光課と共同で取り組んでいる。観光客と住民の観光マナーのギャップやSNSへの写真投稿の傾向分析に関する調査・研究を行った。
606	ものつくり大学	長瀬町の住民の地域愛着意識に関する調査	令和5年度	自治体(行政)			長瀬町産業観光課と共同で取り組んでいる。中長期的な地域社会の維持を図ることを目的に、住民を対象に地域への愛着意識や定住意識に関する基礎的調査を実施した。
607	ものつくり大学	行田市における防災意識に関する基礎的調査	令和4年度	自治体(行政)			行田市危機管理課と協力し取り組んでいる。 行田市に居住する住民を対象に、防災意識向上を目的として、伝承された被災経験や教訓が与える影響を調査を実施・分析した。
608	ものつくり大学	東松山市の農場における農機具小屋の制作	令和4年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			東松山市の月田橋溪流の里農場の農機具小屋について、単管パイプと合板で構成されていたものを、農場の生態環境に配慮し、木立の中にだけ込み、安全で維持管理の負担を緩和する農機具小屋を管理者と学生が施工し、改修した。
609	ものつくり大学	熊谷市諏訪神社拝殿の建物および天井絵の調査・図面制作	令和5年度	その他			熊谷市内の諏訪神社拝殿および天井絵の建物調査および図面制作を行った。
610	ものつくり大学	鴻巣市清法寺山門および薬師堂の建物調査・図面制作	令和5年度	その他			鴻巣市内の清法寺山門および薬師堂の建物調査および図面制作を行った。
611	ものつくり大学	国登録有形文化財 旧荒井八郎商店建物群の建物調査・図面制作	令和5年度	その他			行田市市内の旧荒井八郎商店建物群の建物調査および図面制作を行った。
612	ものつくり大学	埼玉県庁第二庁舎食堂中庭に設置する木製什器の制作	令和5年度	自治体(行政)			令和5年度埼玉県スマートオフィス推進モデル事業の一環として、埼玉県庁第二庁舎食堂中庭に、学生がデザインした木製ベンチ・テーブルを設計・制作・設置した。
613	ものつくり大学	埼玉純真短期大学図書館の図書用木製什器の制作	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉純真短期大学の図書館リニューアルに伴い、ものつくり大学と埼玉純真短期大学の大学間連携プロジェクトとして、大型絵本用書棚、大型紙芝居架、図書用展示台、展示架の5種類の制作を行った。
614	ものつくり大学	「行田市こどもまんなか駐車場」のピクトグラムを制作	令和5年度	自治体(行政)			学生プロジェクト「ものつくりデザイナーズプロジェクト」が、行田市の公共施設47か所に設置されている「行田市こどもまんなか駐車場」に用いる子どもモチーフにしたピクトグラムのデザインを制作した。
615	ものつくり大学	「ここのす花まつり」における来訪者のニーズ調査	令和5年度	自治体(行政)			鴻巣市商工観光課と共同で、「ここのす花まつり」の持続的なイベントの開催に向けて来訪者を対象に、プロジェクトに対する認知や評価、満足度などのイベントに対する来訪者のニーズを調査した。
616	ものつくり大学	(高大連携事業)埼玉県立鴻巣女子高等学校のスクリーン兼パーテーションの制作	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携プロジェクトとして、鴻巣女子高等学校の文化祭で毎年家政科学科が使用しているパーテーションを制作した。
617	ものつくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 埼玉県立大宮工業高等学校(6名):11月5日~16日
618	ものつくり大学	(高大連携事業)ものつくり大学体験授業、出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業ならびに高校生が本学において授業を体験する体験授業実施している。 ものつくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらい、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業ならびに体験授業がその一助になることを念願している。 【出張授業】 埼玉県立児玉高等学校(60名):9月28日 埼玉県立桶川高等学校(31名):10月26日 筑波大学附属坂戸高等学校(24名):11月15日 埼玉県立川越工業高等学校(6名):12月19日 埼玉県立児玉高等学校(59名):12月19日 埼玉県立春日部工業高等学校(29名):12月19日 【体験授業】 埼玉県立坂戸西高等学校(13名):8月29日 埼玉県立岩槻商業高等学校(16名):6月5日

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
619	ものつくり大学	(高大連携事業)埼玉県教育委員会事業および県内高校等で教員が講演	令和5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		高校等の研修会で教員が講演を行った。 埼玉県高等学校中堅教諭等資質向上研修(120名):7月25日 埼玉県工業系高等学校副校長・教頭会(12名):12月13日 埼玉県立春日部工業高等学校教員研修会(40名):10月10日 埼玉県立岩槻商業高等学校教員研修会(40名):11月2日 埼玉県立春日部工業高等学校生徒講演会(80名):12月13日 埼玉県立上尾鷹の台高等学校生徒講演会(426名):3月14日 東京成徳大学深谷中学校生徒講演会(12名):10月31日
620	ものつくり大学	(高大連携事業)「学 SAITAMAプロジェクト」の実施	令和5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県教育委員会との共催事業として「学 SAITAMAプロジェクト」を実施した。 内容:「音の科学」～自分だけのオーディオシステムをつくらう!～ 日時:3月23日～3月25日 参加:18人(春日部工業1人、児玉6人、坂戸2人、秩父2人、所沢北7人)
621	ものつくり大学	ものつくり大学技能競技大会	平成24年度	産業界(企業等)			ものつくり大学、埼玉県技能士会連合会、埼玉土建、建設埼玉が主催し、高校生とものつくり大学生を対象に募集を行う。建築大工職種と家具職種で、それぞれ課題が示され、実技競技を行う。 日時:10月29日(碧蓮祭と同時開催) 参加人数:12名(建築大工8名、家具4名)
622	立教大学	水泳教室	昭和47年度	その他			毎年8月の夏休み期間を利用して、近隣の3～12歳の子供たちを対象に、体育会水泳部が水泳教室を行っています。期間中延べ1,000名近くが参加する人気の企画です。平成27年度より、屋内プールになり、天候に影響を受けません。
623	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	自治体(行政)			新座市・新座市教育委員会から委託を受け、市民向けに、「公開講座」「スポーツ教室(野球・サッカー・テニス・乗馬)」「クリスマスコンサートなどを開催しています。
624	立教大学	市内3大学学生と市長との懇談会	平成9年度	自治体(行政)			柔軟な思考で斬新なアイデアの提案が期待できることから、大学生が市政に対する提言等を新座市長にするというものです。市内にある3つの大学に通学する学生を対象に、懇談会形式で実施しています。
625	立教大学	インターンシップ	平成11年度	自治体(行政)			官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会として新座市でのインターンシップを実施しています。実施期間は夏季休暇中(前期)または春季休暇中(後期)を中心に、5日間以上の実習について単位を付与しています。
626	立教大学	にいざプラスカレッジ(旧 新座市民総合大学)	平成12年度	自治体(行政)			新座市・新座市教育委員会主催で市内3大学(跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学)が各1コース(3大学合計3コース)を開講し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施しています。
627	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	産業界(企業等)			埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し様々な活動を行っています。事例として、地域活性化を目的として、まち歩きMAPを本学観光学部生が作成しています。『ふらって幸手』から始まり、羽生、行田、加須、氷川参道、新座、小鹿野、秩父、川越、草加、朝霞などで制作を続けています。
628	立教大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県内の中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっています。埼玉県では、平成22年度から大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をしています。
629	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体(行政)			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、富士見市の子ども30名を対象に、学ぶ力や生きる力をはぐみ、向上させることを目的とし、様々な授業を展開しています。
630	立教大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成24年度	自治体(行政)			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的とし、「乗馬教室」などを開催しています。
631	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	産業界(企業等)			本学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講しています。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っています。
632	立教大学	彩の国アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	自治体(行政)			「RSL(立教サービスマーケティング)」科目において、アスポート学習支援事業(運営:一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク)に学生を派遣しています。
633	立教大学	正課授業 立教サービスマーケティング(RSL)ーローカル(地域共生)	令和4年度	地域団体			熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組み企業での農作業や地域に根ざした「農からはじまる暮らし」の体験(ハンディキャップをもつ方々との農作業やワークショップ、農産物の生産から商品として消費者へ提供される過程についての体験的な学び)をとおして、地域における社会的包摂のあり方やローカルな視点から持続可能な社会をつくるために必要な視点や方法を学んでいる。
634	立教大学	埼玉県知事とコミュニティ福祉学部の学生による意見交換	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県と立教大学との包括連携協定に基づく連携推進の一環として、若者の感性を県政に生かすつ、学生に生きた学習の場を提供することを目的として実施しています。
635	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 (ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察) ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。
636	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体(行政)			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
637	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
638	早稲田大学	さやま市民大学 早稲田大学連携 健やかいきがい講座	平成18年度	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施 ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員20名
639	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体(行政)			<p>所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。実習内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
640	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
641	早稲田大学	埼玉県皆野町、株式会社アイネス総合研究所と早稲田大学人間科学学術院との健康データ分析による健康増進で中長期的にまちを発展させる事業に関する包括的協定	令和4年	自治体(行政)	企業		<ul style="list-style-type: none"> ●健康データ分析事業に関する事項 ●皆野町民の健康寿命の延伸事業に関する事項 他
642	早稲田大学	埼玉医科大学総合医療センターとの実習生に関する契約書	令和5年	病院			<ul style="list-style-type: none"> ●臨床現場での実習および見学
643	早稲田大学	所沢市教育委員会と早稲田大学人間科学学術院との教育臨床連携に関する覚書	令和5年	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●相談者への窓口紹介 ●大学院生への実習提供 ●教員の資質向上 ●心理相談室の活動提供
644	早稲田大学	獨協医科大学埼玉医療センターと早稲田大学人間科学学術院との実習生の受け入れに関する覚書	令和5年	病院			<ul style="list-style-type: none"> ●臨床現場での実習および見学
645	早稲田大学	「マチごとゼロカーボン市民会議」相互協力に関する覚書	令和5年	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●市民会議への協力 ●市民会議参加者を対象とした調査研究 ●市民会議参加者自らが行う活動への支援
646	早稲田大学	「マチごとゼロカーボン市民会議」に関する覚書の変更覚書	令和5年	自治体(行政)			<ul style="list-style-type: none"> ●相互に協力して市民会議を開催
647	早稲田大学	こども科学実験教室の開催	平成16年度	自治体(行政)	小・高等学校等		<p>大学院教員および学生、本庄高等学院教員による本庄市および周辺地域への小学生児童を対象とした科学実験教室の開催。</p>
648	早稲田大学	本庄市市民総合大学への支援	平成22年度	自治体(行政)			<p>本庄市が主催する市民を対象とした生涯教育事業「本庄市市民総合大学」において、会場の提供および講師紹介をおこなっている。</p>
649	早稲田大学	神川町小学生児童を対象とした国際交流プログラムの実施	平成31年度	自治体(行政)	財団法人	小・高等学校	<p>公財)本庄早稲田国際リサーチパークならびに早稲田大学、児玉郡神川町教育委員会が主催する神川町小学生を対象とした国際交流プログラム「グローバルキャンパス 神川」の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プログラムの企画運営を公益財団法人本庄国際リサーチパークが担当 ●早稲田大学の留学生や本庄高等学院の生徒が児童の学習を支援 ●留学生の出身国の文化や言語習得、英語でのゲーム等を通じて大学生との交流や異文化理解を深めることを目的とする。
650	早稲田大学	本庄市内小学校での総合学習支援事業	平成31年度	小・高等学校等			<p>早稲田大学本庄高等学院の教諭、生徒が本庄市内小学校に訪問し、総合学習の時間において理科・エネルギー等の講義・実験を通じて科学への理解と交流を図る事業。</p>
651	早稲田大学	秩父市を中心とした「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 実証実験」への参画	令和2年度	自治体(行政)	企業		<p>2020年10月 秩父市が採択された令和2年度 Society5.0「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 調査・設計業務委託」に、大学院環境エネルギー研究科 小野田弘士教授が開発した多目的小型自動運転EVを提供するなど実証事業に参画</p>
652	早稲田大学	本庄市と早稲田大学による文化遺産展示施設「本庄早稲田の社ミュージアム」の運営事業	令和2年度	自治体(行政)			<p>早稲田大学(担当:文化企画課)と本庄市による協働事業として、施設改修費を大学が負担し、運営コストを本庄市がもち2020年10月15日に開館。名誉館長は本学理事の渡邊 義浩。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●常設展示内容の企画・運営 ●企画展、ワークショップ、講座等の運営
653	放送大学埼玉学習センター	放送大学・さいたま市宇宙劇場コラボレーション特別講演会	令和2年度	公共施設			<p>放送大学埼玉学習センターとさいたま市宇宙劇場とのコラボレーションによる講演会。さいたま市宇宙劇場プラネタリウムを会場として、宇宙や星座にまつわる内容の講演を行っている。令和5年度は、8月5日に「空」からその先の「宙」へ〜その謎と探究に向けた飛翔体実験〜(講師:井上直也放送大学客員教授)というテーマで開催した。</p>
654	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		<p>自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、大半が5日間程度で実施しているが、10日間受け入れていただいている企業もある。修了後単位が付与される。コロナウィルスの影響により昨年度まで中止していたが、今年度から再開し、年間16の企業様に31名の学生を受け入れていただいた。</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
655	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			6~9月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語・韓国語)の分野で15の講座を開設。
656	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			10~3月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語)の分野で11の講座を開設。
657	秋草学園短期大学	地域活動(ボランティア)	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位(4単位)が付与される。所沢市民フェスティバル広報とともに清掃を担当。「サンタを探せ」のイベントに派遣
658	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」夢プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。
659	秋草学園短期大学	空飛ぶ音楽祭	令和3年度	自治体(行政)			「空飛ぶ音楽祭2023」の実行委員会において、地域保育学科学科長が実行委員長を務め、運営の中心を担った。また、地域保育学科教員も委員として参加した。学生は1年生・2年生が広報や当日のスタッフとして参加した。
660	秋草学園短期大学	「安心・安全な地域づくり」事業	令和4年2月25日	所沢警察署			埼玉県警所沢警察署と包括連携協定を結び、安全・安心な地域を作るための取り組み(オレオレ詐欺防止キャンペーンのためのポスター・チラシ作りと市民へのPR活動、西武鉄道・西武遊園地に於ける救難訓練の実施 等)を行っている。
661	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体(行政)	産業界(企業等)		学生約45名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視聴覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。 令和5年度は地域保育学科のみの参加となった。
662	秋草学園短期大学	「茶娘」		自治体(行政)			所沢市農業振興課地元特産の「狭山茶」を池袋駅にてPR活動を補助。
663	秋草学園短期大学	「農業祭」		自治体(行政)			所沢市民フェスティバルにて所沢市農業振興課の「農業祭」における様々なイベントの補助。
664	秋草学園短期大学	「SORALレディ(学生記者)」		地域団体(NPO、ボランティア等)			所沢商工会議所のSORALレディ(学生記者)を2名の学生が毎年委嘱を受けて、様々な機関・企業等に取材に赴き、本機関広報誌等に記事等を執筆した。
665	秋草学園短期大学	「フードパントリー」等		地域団体(NPO、ボランティア等)			所沢市社会福祉協議会(令和5年4月に包括連携協定を結ぶ)「フードパントリー活動」と「缶詰ボランティア活動」(所沢市こども福祉の未来館にて)補助。修了後単位が付与される。
666	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園(所)・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、応募作品点数を従来の10点から8点に制限するとともに(令和3年度の5点からは増加)、作品展示を見合わせ、表彰式は従来より縮小して実施した。応募作品は、厳正な審査を経たうえで、一部を表彰式で表彰の上、大学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
667	国際学院埼玉短期大学	就職問題研究協議会	昭和63年度	国・自治体(行政)(埼玉労働局)(埼玉県労働商工部)	公共団体(埼玉県雇用対策協議会)	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)	埼玉県内私立短期大学に在学する学生の就職支援の向上・充実を図ることを目的に毎年、春・秋の年2回、研究協議会を開催しており、令和5年度については、オンライン開催とし、埼玉労働局職業安定部職業安定課、埼玉労働局雇用環境・均等室、埼玉県産業労働部雇用労働課、埼玉県雇用対策協議会に助言・指導者として出席いただき開催した。 第1回:令和5年6月13日 / 第2回:令和5年9月19日
668	国際学院埼玉短期大学	埼玉県高等学校進路指導研究会との連絡協議会	昭和63年度	高等学校の協会(埼玉県高等学校進路指導研究会)	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)		県内短期大学の教育内容の理解、及び県内高校生の自県内短期大学への進学率の向上等を図るため毎年研究協議会を開催している。令和5年度は「令和6年度入学者選抜の特色」「入学前教育」「高校生「学び」夢プラン」について連絡協議・意見交換を行った。 期日:令和5年8月1日 場所:埼玉県立浦和商業高等学校
669	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	自治体(行政)			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の方を対象に学びの機会を提供しており、令和4年度については次の2講座を開催した。 ・「大人も育つ！子育て講座」9月5日・9月6日 ・「さいたま市の魅力発信！講義とさいたま市産「紅赤」を使った調理」11月25日・12月2日・12月9日
670	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。
671	国際学院埼玉短期大学	短期大学生のためのキャリア形成講座	平成22年度	国(国立女性教育会館)	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)		「生涯を通じたキャリア形成の考え方」について学ぶとともに、他大学の学生との交流や討議を通じて、人と人との関わり合いの基礎や多様性(ダイバーシティ)を認め合う意識の涵養を目的として毎年行っている。令和3年度はコロナにより一時中止となったが、令和5年度においては加盟短期大学の「キャリア教育」の一環として、「男女共同参画の視点に基づくキャリア教育」をオンデマンド形式で実施した。オンデマンド配信期間:令和5年10月10日から12月31日まで
672	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		さいたま市農業青年協議会の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五奉祭(大学祭)やさいたま市農業祭において販売している。
673	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。
674	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大(大学・短大間連携)			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座(リレー講座)に参加している。本学では令和5年度は4つの講座を実施した。 ・「日本マナー・プロトコール協会後援 楽しいお着講座」8月1日 ・「親子で楽しく体を動かそう健康づくりのためのフィットネス」8月25日 ・「はじめての災害食講座～在宅避難生活を乗り越えるために～」11月1日(水)～11月30日(木)動画公開 ・「そば打ち入門」3月9日

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
675	国際学院埼玉短期大学	全国調理師養成施設協会共催 公開講座 食育教室2023	平成27年度	自治体(行政)			全国調理師養成施設協会との共催で、小学生を対象に食育をテーマとした公開講座をオンデマンドで実施した。「くず野菜を利用してちよっとリッチな料理をつくりましょう(魚料理とカレー)」10月21日
676	国際学院埼玉短期大学	国際学院埼玉短期大学認定「食育士養成講座」	平成28年度	産業界(企業等)	農場、牧場		本学が地域の食育を推進する人材を育成する事業において、埼玉県内の農場や牧場と連携し、作業体験を通じて体験的に食の循環等を学ぶ機会として取り組んだ。
677	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体(行政)			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座(リカレント教育)」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和4年度はコロナにより一時中止。令和5年度は1科目開講した。
678	国際学院埼玉短期大学	園外保育連携	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	社会福祉法人(保育園)		保育士養成教育並びに保育の向上・充実に寄与することを目的に包括協定締結先の保育園と連携し、園から徒歩圏内にある本学の構内(人工芝の多目的広場)を目的として園児を受け入れ、園外保育を行った。
679	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようにするための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立蕨宮高等学校:6月～12月に2回 国際学院中学校高等学校:6月～11月に3回
680	国際学院埼玉短期大学	「食品ロス削減全国大会inさいたま」への参加	令和4年度	自治体(行政)			食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図ることを目的とし、毎年、食品ロス削減の日(10月30日)に開催される「食品ロス削減全国大会」が、令和4年度はさいたま市で開催された。(さいたま市、全国おいしい食べ盛り運動ネットワーク協議会主催、消費者庁、農林水産省、環境省共催。)その「第6回食品ロス削減全国大会inさいたま」において、「さいたま市チームEat All!」の一員として、学生が参加した。 ・食品ロス削減の取組について、パネル展示および説明 ・来場した児童へ、食品ロスゲームによる啓発活動
681	国際学院埼玉短期大学	さいたま市広報番組「のびのびシティさいたま市」撮影・出演協力	令和4年度	自治体(行政)			さいたま市の広報番組「のびのびシティさいたま市」に学生が出演し、さいたま市のさつまいも「紅赤」を使った料理の紹介を行って、地産地消の活動を展開した。 12月18日放送、12月25日再放送 当日のテーマ『さいたま市の特産品「紅赤」を使った料理をつくろう!!』
682	国際学院埼玉短期大学	IRの普及・活用に向けた合同研修会	令和4年度	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)	埼玉県内の私立短期大学		県内短期大学が行っているIR(学修時間や教育の成果等に関する情報収集を行い、自らの客観的な状況を分析する)の取組に触れ、相互に啓発しあう機会を設けるため、合同の研修会を行った。令和4年度は参加校5校でオンライン開催で行われた。
683	国際学院埼玉短期大学	さいたま市産「紅赤」を使用した、産学官連携・地産地消推進の取組み	令和5年度	自治体(行政)、産業界(企業等)			さいたま市内の農家が栽培するさいたま産のさつまいも「紅赤」を使用したレシピを、パレスホテル大宮のシェフと本学学生が共同開発し、パレスホテル大宮において販売した。
684	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		・埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」について、令和5年11月14日に2コマ講座開講の案内をした。 ・埼玉県民の日で休日ということから、2つの高等学校が参加した。生徒5名・教員1名が看護の演習科目と疾病治療論の講義科目を受講した。在学生に学内見学を誘導してもらい、また在学生との座談会を設けた。
685	埼玉医科大学短期大学	中高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			・協定校3校の高校生に対して、看護に関する学習の機会を設け、大学及び看護への関心を高めることを目的とした高校大学連携事業を計画して実施している。 ・令和5年度(2023年)は高大連携事業を7月22日(土)に実施した。看護への道(短期大学紹介)、講義、演習、学内見学、対象高等学校卒業生である在学生との懇親会を実施した。高等学校教員と本学教職員間で情報交換会を行った。 ・令和5年度(2023年)から地域の中学校との連携をすすめ、中大連携事業を10月28日(土)に実施した。毛呂山町の中学校から参加希望の中学生を招待し、看護への道(短期大学紹介)、体験学習の参加、出身中学校卒業の先輩からのメッセージを届けて看護師の仕事を選択した理由やきっかけを説明した。
686	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体(行政)	その他		・令和5年度(2023年)は、公開講座を12月16日(土)に実施した。 ・「人生会議をしませんか」～語り合おう、「もしものとき」のこと～ 厚生労働省、各都道府県医療整備課等の促進のもと、アドバンスケアプランニングの普及について公開講座を実施した。 ・地域住民や社会の学習を支える知の拠点として、一般の方の関心事項を発信、活動の支援をする。
687	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体(行政)	その他		R5年度7月29日(土)および8月5日(土)に計4講座開講した。
688	埼玉純真短期大学	羽生市学びあひ夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関(児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等)と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
689	埼玉純真短期大学	特別支援教育研究セミナー	平成23年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	その他	11月11日(土)本学にて開催。障がい者教育に携わっている100名が参加出席。国立特別支援教育研究総合研究所発達障害教育推進センター上席総括研究員兼センター長の長江清和先生の講演と東洋大学教授は枝喜代治先生、東京未来大学講師大橋智先生ならびに熊谷市立市田小学校校長板倉伸夫先生と熊谷市立富士見中学校教諭の三富貴子先生、日本社会事業大学専門職大学院客員教授の宮島清先生による4分科会の講座を行なった。
690	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	第13期子ども大学はにゅうを8月8日(火)および8月10日(木)に開校した。 参加者:羽生市内小学生4年生～6年生 25名 実行委員会を本学にて開催
691	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		12月11日(月)本学にて開催
692	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
693	埼玉純真短期大学	高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		11月3日(水)文化の日に本学にて開催 2名参加

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
694	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体(行政)			羽生市との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。特別支援巡回 回数:6回(市内小中学校)など
695	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行った。
696	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行った。
697	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による来学授業を行った。
698	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校、埼玉県立羽生第一高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数:誠和福祉高等学校 4回 進修館高等学校 4回 羽生第一高等学校 4回
699	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		11月3日(水)文化の日に本学にて開催
700	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体(行政)			行田市教育委員会との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
701	埼玉純真短期大学	3市(行田市、加須市及び羽生市)1商工会議所(行田)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学)の連携協力協定	令和2年度	自治体(行政)・商工会議所・商工会・大学			この団体の名称は彩北未来プロジェクトである。定例会議を行っている。本年度は3大学の学園祭時に10団体のPRを行なった。また、3大学合同研究発表会を平成国際大学にて2月16日(金)に開催した。10団体から見学参加があった。また、同日3大学と高校の高大連携交流会を実施した。
702	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣など
703	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生 ③ イオン未来書局 ④ 岩瀬小学校放課後こども教室 ⑤ 加須市の龍興寺ボランティア ⑥ 五霞町のボランティア ⑦ 利根川観光プロジェクトなど
704	埼玉女子短期大学	日高市 ひ・まわり探検隊	平成25年度	自治体(行政)			市内の小中学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることとを目的とし、「ひ」だか市内を隅々まで「まわり」探検する。 学生がスタッフとして参加。
705	埼玉女子短期大学	子ども大学ひだか	平成29年度	自治体(行政)			地域の大学や企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。
706	埼玉女子短期大学	日高市 日高塾	平成30年度	自治体(行政)			市内6つの小学校区で月1回の土曜日に4年生から6年生までを対象として、基礎学力の向上、学習習慣の定着化、地域の方との交流を図ることを目的としている。 学生がスタッフとして参加。
707	埼玉女子短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携する、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUUP)の会員校として参画。
708	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体(行政)			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性(講義)、主に新生児から幼児に対する基本的な心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 (令和2～5年度はコロナにより中止した)
709	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体(行政)			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」(現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」)を開講している。内容は、小学生(4年～6年生)を対象とした、保育士体験プログラム(手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践)となる。毎回、近隣の保育園に出向き、参加者が保育士(先生)役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。
710	埼玉東萌短期大学	かがくわくわくひろば	令和元年度	自治体(行政)			越谷市科学技術体験センター ミラクルにおいて実施。 学生を中心に作り上げた科学的な要素を取り入れた保育ショーである。 令和5年度、学生参加者は24名。教員は5名が指導を行った。保育ショーの内容は、SDGsをテーマにした創作劇、歌、子どもたちが楽しめる科学的な実験動画など取り入れ、地域の親子が100名程度参加した。
711	埼玉東萌短期大学	「はくくみ」おはなし会	令和2年度	産業界(企業等)			令和5年度は本学の附属図書館で近隣保育園や子育てサークルなどに通う親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行った。
712	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を回り、高校生を対象とした出張授業を実施している。 令和3年度からは武蔵野星城高等学校の生徒を対象とした「保育講座」「進学クラス保育の授業」及び連携校3校の生徒を対象とした「高大連携校3校による夏休み保育講座」を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
713	埼玉東萌短期大学	小学校との連携事業	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			令和4年度に本学の2年生11名が越谷市立新方小学校でSDGsをテーマにした活動を行った。低学年の児童に分かりやすく作成したスライドや紙芝居サークル～つなぐ～を中心に創作したSDGsをテーマにした紙芝居「ゴーゴー！！トロー号！！」やクイズなどで、楽しく環境問題について考えた。また、後半は、工作や実験を行い、環境を大切にしていることの大切さを伝えた。 (令和5年度は、小学校との日程調整等の都合により実施していない。)

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
714	埼玉東萌短期大学	ラジオ番組への協力出演	令和4年度	産業界(企業等)			令和5年5月、7月に認定給本士を目指す学生2名が、しがやエフエムの「子育てはひふへほ」という番組で、絵本を紹介した。また、令和5年9月3日(日)越谷ツインシティA棟2階のオープンスペースで行われた、しがやエフエムによる公開収録に、教員2名が参加し、地域の方々と少年叙事詩「ハテルマシキナ〜よみがえりの島、波照間〜」の輪読を行った。
715	埼玉東萌短期大学	はじめてのおしごと	令和4年度	産業界(企業等)			商業施設「ラガーテン春日部」にて、小学1〜4年生を対象に、「はじめてのおしごと」として保育士の体験講座を実施した。2023年7月30日(土)に行い、小学生29名が参加し、ボランティアとして、本学学生が参加した。内容は手遊び、赤ちゃん人形を使用した体験、表現あそび等を実施した。
716	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界(企業等)			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研究的な就業体験を行う。
717	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	自治体(行政)			東松山市、吉見町、鳩山町、川島町、北本市へ講演、実技指導の講師派遣。
718	武蔵丘短期大学	県内の高等学校との事業	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			主に高大連携協定校などへ教員が講演や模擬授業などを実施している。
719	武蔵丘短期大学	大学と連携した人材育成	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		本学の学生に対してB&Gによる海洋リーダー研修を実施して、研修を受けた学生が吉見町の子どもたちに実施する安全教室ボランティアやプール教室の補助を実施している。
720	武蔵丘短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
721	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは? ~地域の子育て環境を豊かに~
722	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体(行政)	その他		埼玉ピースミュージアム;紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学;認知症リハビリテーション養成講座、はとやまワークショップDAY 鳩山町;はとやま祭、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健寿まつり 東松山市;リレー講座、まちおこしランチパック開発プロジェクト 坂戸児童センター;こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町;七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館;イベント手伝い
723	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア等)		山村学園短期大学;子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校;鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院;チャリティコンサート ひばり保育園;ひばりこスキーキャンプ おおやま福祉作業所;利用者誘導、イベント手伝い 富士見すくすく保育園ナーサリースクールSUKUSUKU;お誕生日会イベント 埼玉県こども動物自然公園内こどもの城;絵本の読み聞かせ(毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演)
724	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		鳩山町;「保育ボランティア養成講座」 東松山市;「リレー講座 絵が語る言葉が魅せる心が踊る」 飯能高校;「ダンスにトライ!」 鳩山高校;「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコーキ」 川越西高校;「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校;「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校;「絵本とブチシアター」
725	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習(下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等)を実施。
726	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぼっぽ」	平成20年度	自治体(行政)			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー(仮装あそび)、クリスマスコンサート等を実施している。
727	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4〜6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
728	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体(行政)			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1〜3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
729	山村学園短期大学	東松山市まちなかリノベーション	平成30年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者を呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを旨とする。本学は平成30年度より参加している。
730	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
731	山村学園短期大学	東松山ぼたん園まつり	令和元年度	自治体(行政)			ぼたん園にて「親子で水遊び」イベントの補助ボランティアとして3名参加
732	山村学園短期大学	埼玉ピースミュージアム 紙芝居読み聞かせ会	令和元年度	自治体(行政)			埼玉ピースミュージアム講堂にて11月14日学生5名による紙芝居の読み聞かせを行った。
733	山村学園短期大学	埼玉県こども動物自然公園	令和元年度	自治体(行政)			「こどもの城DAY絵本の読み聞かせ」として5名の学生による絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアターなどの上演を行った。
734	山村学園短期大学	毛呂山町児童館まつり	令和元年度	自治体(行政)			児童館まつりでの段ボール迷路コーナーの補助、ダンス遊び披露など6名の学生が運営に参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例(令和5年度)

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
735	山村学園短期大学	吉見町親子アクティブプログラム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		吉見町と武蔵丘短期大学の年間を通じた親子でスポーツの基礎づくり・習慣の確立をめざしたプログラムのかけこ教室(短距離編)へボランティアとして参加した。
736	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		TJUPによる「まなびのみちクリーンウォーク」への参加
737	山村学園短期大学	武蔵丘短期大学 山村学園短期大学公開講座	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		新型コロナウイルス感染予防をふまえた子どもの運動あそびとして、親子でふれあう歌あそびなどの運営等を行った。武蔵丘短期大学屋外にて実施。
738	山村学園短期大学	山村学園短期大学公開講座	令和3年度		自治体(行政)		「フラワー曼荼羅ぬり絵」～心理学の世界を体験してみよう～
739	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和4年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る」～鎌倉時代の子育てについて～ の実施
740	山村学園短期大学	鶴っ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業	令和4年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		小中学生の自主学習サポートへの参加
741	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和4年度	自治体(行政)			鳩山町小学生対象に東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計3回)を行った。
742	山村学園短期大学	ワークショップ体験	令和4年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		イオンタウンふじみ野開業2周年イベントとして来場者(幼児親子)に対してワークショップを行った。
743	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る2023」～埼玉のスゴ偉人～ の実施
744	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和5年度	自治体(行政)			鳩山町小学生対象に東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計4回)を行った。
745	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「TJUPランド～こどもフェスタ～」にて、わくわく教室「スライム時計をつくろう」を実施